NEC

ユーザーズマニュアル

LaVie E

853-811064-106-A
2011年5月　初版

このマニュアルの表記について

◆手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにマウスを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側の注意には、操作に関連する補足説明や参照情報などが記載されています。はじめてパソコンを扱うかたは、右側の説明もよく読んでください。

◆このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

⚠注意 | 人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

パソコンで起きている問題点に対して対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものを探してください。

メモ | 参考になる事柄です。

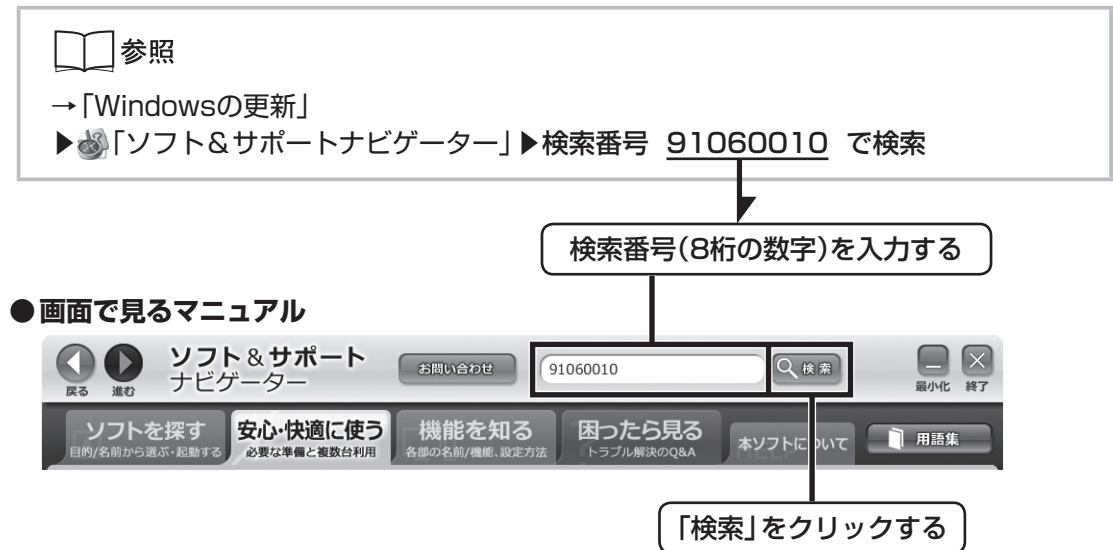
◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【　】 | 【　】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

「ソフト&サポートナビゲーター」 | 画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。「ソフト&サポートナビゲーター」は、タスクバーの(ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリックして起動します。

◆番号検索について

このマニュアルに出てくる検索番号(8桁の数字)を画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」で入力して検索すると、詳しい説明や関連する情報を表示できます。

例) 検索番号が「91060010」の場合

◆本文中の画面やイラスト、ホームページについて

・ 本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
・ 記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口やサービス内容、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆このマニュアルでは、各モデル(機種)を次のような呼び方で区別しています

ご購入された製品のマニュアルで表記されているモデル名を確認してください。

Windows 7 Home Premiumモデル	Windows 7 Home Premiumがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office Personal 2010モデル	Office Personal 2010が添付されているモデルのことです。
Office Home & Business 2010モデル	Office Home & Business 2010が搭載されているモデルのことです。
Office 2010モデル	Office Personal 2010またはOffice Home & Business 2010が添付されているモデルのことです。

◆周辺機器について

・ 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、各種インターフェイスに対応している必要があります。
・ 他社製増設機器、および増設機器に添付のソフトウェアにつきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は、各メーカにご確認の上、お客様の責任においておこなってくださるようお願いいたします。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows 7	Windows® 7 Home Premium with Service Pack 1（SP）
Office Personal 2010	Microsoft® Office Personal 2010
Office Home & Business 2010	Microsoft® Office Home and Business 2010
Word 2010	Microsoft® Word 2010
Outlook 2010	Microsoft® Outlook 2010
ウイルスバスター	ウイルスバスター2011 クラウド™

<table>
<tr><th rowspan="2">シリーズ名</th><th rowspan="2">型名（型番）</th><th colspan="2">表記の区分</th></tr>
<tr><th>OS</th><th>添付ソフト</th></tr>
<tr><td rowspan="2">LaVie E</td><td>LE150/E2
（PC-LE150E2）</td><td rowspan="2">Windows 7 Home Premiumモデル</td><td>Office Home & Business 2010モデル</td></tr>
<tr><td>LE150/E1
（PC-LE150E1）</td><td>Office Personal 2010モデル</td></tr>
</table>

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 EnterpriseまたはWindows® 7 Ultimateおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9)ハードウェアの保守情報をセーブしています。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.
Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

PART

1

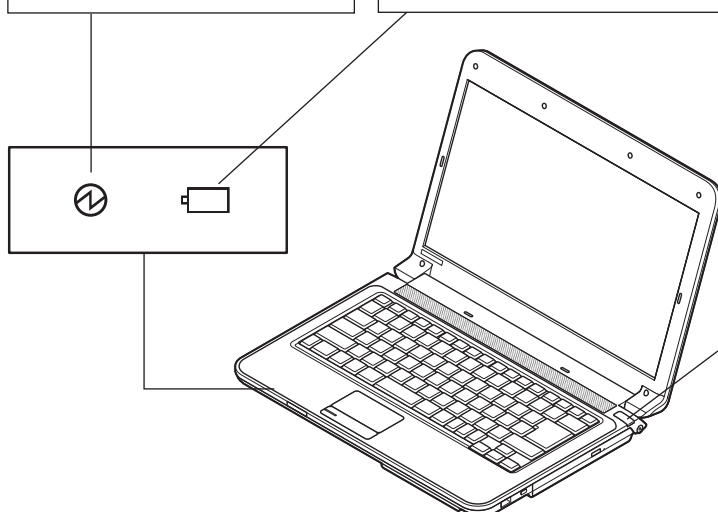
このパソコンについて

『セットアップマニュアル』を使ってセットアップが終わったら、いよいよ本格的にパソコンを使い始めます。

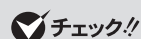
よく使うボタンなど

このパソコンの添付品の確認、接続、およびセットアップについては、『セットアップマニュアル』をご覧ください。
ここでは、このパソコンの電源スイッチなどについて紹介します。

このほかに、【Fn】+【1】や【Fn】+【2】、【Fn】+【F7】を押すだけでソフトや機能を起動することができます。このキーの組み合わせを「ワンタッチスタートボタン」と呼びます。ご購入時の設定では、次のキー操作にWebブラウザを閲覧するソフトと電子メールのソフトが割り当てられています。

- 【Fn】+【1】…Windows Live メールが起動します。Office 2010モデルの場合、はじめて【Fn】+【1】を押したときに選択した電子メールソフトが起動します。
- 【Fn】+【2】…Internet Explorerが起動します。
- 【Fn】+【F7】…ソフト&サポートナビゲーターが起動します。

参照

パソコン各部の説明について
→「各部の名称と役割」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93010010 で検索

チェック!!

Office 2010モデルでは、はじめて【Fn】+【1】を押したときには、登録できるメールソフト(「Microsoft Office Outlook」、「Windows Live メール」)を選択する画面が表示されます。お使いになるメールソフトを選択すると、【Fn】+【1】に割り当てられます。

ソフトを起動する

ここでは、ソフトを起動するときなどに便利な機能を紹介しています。

このパソコンには、目的に合ったソフトを探して、起動することができる「ソフト＆サポートナビゲーター」や登録しているソフトやファイル、インターネット上のサービスなどを簡単に利用することができる「おすすめメニューNavi」が用意されています。

ソフト＆サポートナビゲーターについて

「ソフト＆サポートナビゲーター」を使うと、このパソコンのハードディスクにあらかじめ登録されているソフトを探して起動することができます。「ソフト＆サポートナビゲーター」に登録されているソフト名の下に「未インストール」と表示されている場合は、「ソフトを起動」をクリックし、インストールしてから起動することもできます。

「ソフト＆サポートナビゲーター」は、タスクバーのアイコンをクリックして起動してください。
ソフトを起動したいときは、「ソフトを探す」をクリックし、目的や名前から起動したいソフトを探してください。

目的や名前から起動したいソフトが探せます。

メモ

「ソフト＆サポートナビゲーター」の機能や操作方法などの詳細は、「本ソフトについて」タブをクリックして確認することができます。

おすすめメニューNaviについて

「おすすめメニューNavi」を使うと、インターネットで知りたい情報を検索したり、よく使うソフトをすぐに使えるように登録することができます。ソフトを登録するだけでなく、お好みの情報をいつでも表示しておくこともできます。

「おすすめメニューNavi」が画面に表示されていないときは、タスクバーのアイコンをクリックして表示してください。

設定パレット
「おすすめメニューNavi」全体や各パレットの表示のしかた、動作などを、お好みに応じて設定することができます。

検索パレット
このパソコンやインターネットから知りたい情報を検索することができます。アイコンをクリックするだけで簡単に検索対象を切り換えることができます。

起動パレット
ソフトやファイル、インターネット上のサービスなどをクリックするだけで、簡単に使いはじめることができます。よく利用するショートカットなどを登録して使うこともできます。

情報パレット
写真のスライドショー、天気予報やニュースなどのインターネット上の情報などを表示させることができます。「おすすめメニューNavi」に登録されているソフトやインターネットサービスの説明も表示されます。

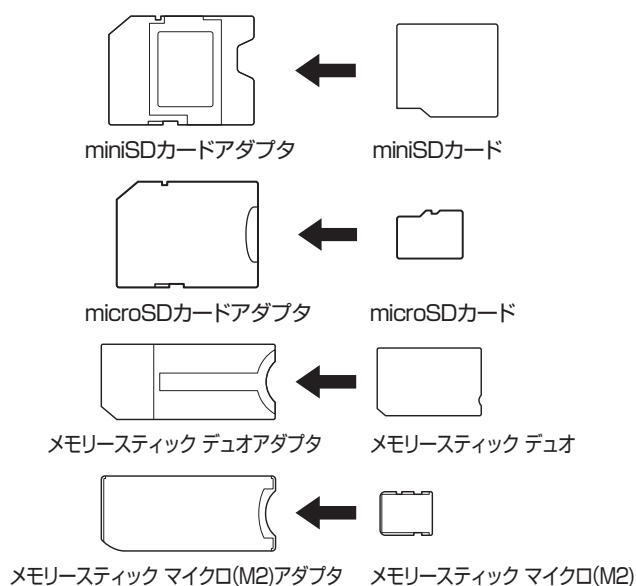
メモ

「おすすめメニューNavi」の機能や操作方法などの詳細は、「おすすめメニューNavi」のヘルプをご覧ください。

メモリーカードの扱い方

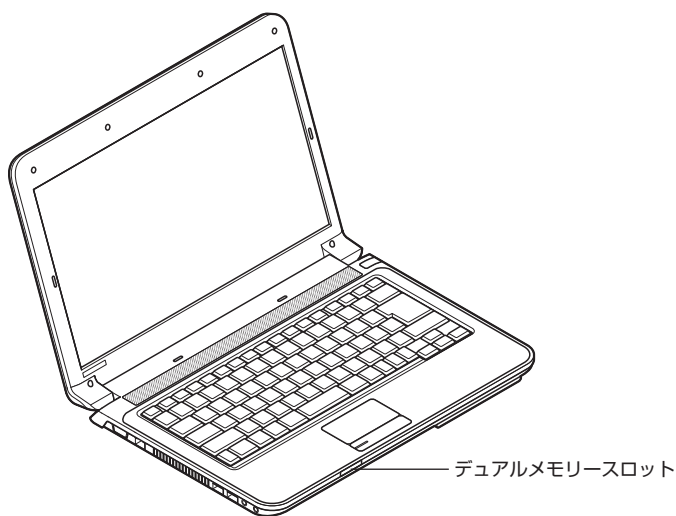
このパソコンで使えるメモリーカードの種類や取り扱い上の注意、メモリーカードのセットのしかたを説明します。

このパソコンでは、次のメモリーカードを使用することができます。
・SDメモリーカード　・SDHCメモリーカード
・メモリースティック　・メモリースティック PRO

miniSDカード、microSDカード、メモリースティック デュオ、メモリースティック マイクロ(M2)は必ず市販のアダプタにセットしてから、スロットに差し込んでください。

チェック!!
- 必ずアダプタにセットしてから使用してください。市販のアダプタを使用せずそのままメモリースロットに差し込むとメモリーカードが取り出せなくなります。
- 各メモリーカードの説明書もあわせてご覧になり、注意事項を確認してから使用してください。

メモリーカードの取り付け方と取り外し方

●メモリーカードを取り付ける方法

1 メモリーカードの表面を上にして、デュアルメモリースロットに差し込む

●メモリーカードを取り外す方法

1 画面右下の通知領域にある をクリックして表示される または をクリックすると表示される「××××の取り出し」で、取り外す機器名をクリックする

「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら取り外してください。

2 メモリーカードをまっすぐに引き抜く

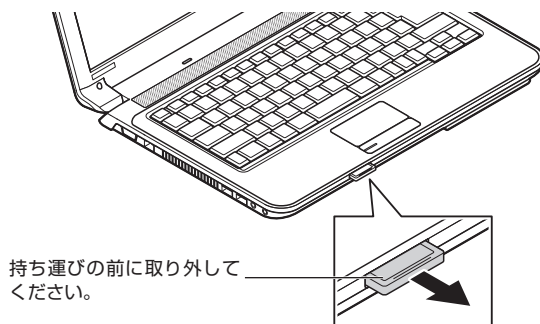
チェック!!

・メモリーカードには表面と裏面があり、スロットへ差し込む方向が決まっています。間違った向きで無理に差し込むと、メモリーカードやスロットが破損することがあります。詳しくは、メモリーカードの説明書をご覧ください。
・パソコンを持ち運びする際は、必ずメモリーカードを取り外してください。メモリーカードやスロットが破損することがあります。
・メモリーカードをセットするときは、無理に奥まで押し込まないでください。カードやスロットが破損することがあります。SDメモリーカードの場合は約6mm、メモリースティックの場合は約17mm、スロットから出た状態でセットされます。
・「miniSDカード」、「microSDカード」、「メモリースティック デュオ」、「メモリースティック マイクロ(M2)」を使う場合は、アダプタに差し込んでおいてください。アダプタの装着方法について詳しくは、メモリーカードまたはアダプタの説明書をご覧ください。
・メモリーカードやアダプタの形状、注意事項など、詳しくは、「デュアルメモリースロット」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93020105 で検索)をご覧ください。

チェック!!

・デュアルメモリースロットアクセスランプ( )点灯中は、スロットに差し込まれているメモリーカードを絶対に取り出さないでください。故障やデータの不具合の原因になります。
・miniSDカード、microSDカードなどのアダプタを使用して差し込んでいる場合、スロット内にアダプタを残したままにしないようにご注意ください。

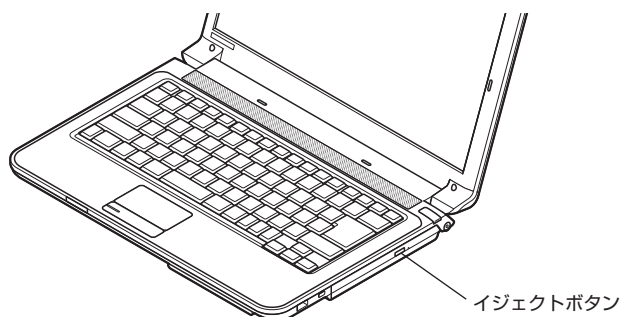
メモリーカードの取り扱い上の注意

- パソコンを持ち運びする際は、必ずメモリーカードを取り外してください(p.12)。メモリーカードは少し飛び出した状態で挿入されているため、メモリーカードやスロットが破損することがあります。

- Windows上でメモリーカードのフォーマットやディスクデフラグをおこなわないでください。
- メモリーカードにデータを保存中または読み込み中に周辺機器を接続しないでください。また、データの保存中はスリープ状態や休止状態にしないでください。メモリーカード内のデータが破損したり誤動作の原因になります。
- メモリーカードやアダプタの形状、注意事項など、詳しくは「デュアルメモリースロット」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93020105 で検索)をご覧ください。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。メモリーカードの説明書をよく読んでから使用してください。
- 大切なデータはハードディスクなどにコピーして、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカードを読み込めない場合は、メモリーカード内のファイルに対応するソフトがパソコンにあるかを確認してください。携帯電話の機種やダウンロードサービスの種類によっては、専用のソフトをパソコンにインストールする必要があります。
- 携帯電話からメモリーカードにダウンロードした音楽データなどは、エクスプローラなどからパソコンにコピーしても利用できないことがあります。携帯電話の機種によって異なりますので、詳しくは携帯電話の説明書をご覧ください。
- 誤った操作による故障やメディアの取り出しは有償となりますのでご注意ください。
- その他の注意事項については『安全にお使いいただくために』の「■メモリーカード取り扱い上の注意」をご覧ください。

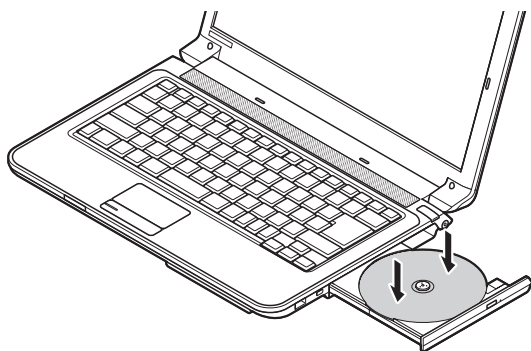
ディスク(DVD/CDなど)

ディスクのセットと取り出しのしかたを説明します。

ディスクをセットする

1 イジェクトボタンを押し、ディスクトレイを出す

ディスクトレイが少し飛び出します。

2 ディスクトレイを手で引き出す

3 ディスクのデータ面(表裏にご注意ください)を下にしてディスクトレイの中央に置き、ディスクを軸にしっかりはめ込む

4 ディスクトレイ前面を押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す

チェック!!

- CDやDVDなどの取り扱い上の注意については、添付の『安全にお使いいただくために』を参照し、あらかじめ確認してください。また、すべてのCDやDVDの動作を保証することはできません。
- ディスクトレイは、パソコンの電源が入っているときのみ出すことができます。
- DVD/CDドライブ内のレンズには触れないでください。

チェック!!

- 8cmと12cmのディスクが利用できます。
- 星型や名刺型などの円形ではない異形ディスクや、規格外に容量の大きな書き込みディスクなどは利用できません。

参照

使用できるディスクやデータ形式について

→「使用できるディスク」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93070020 で検索

ディスクを取り出す

1 イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し飛び出します。

2 ディスクトレイを手で引き出す

3 ディスクを取り出す

4 ディスクトレイ前面を押して、ディスクトレイをもとの位置に戻す

ディスクが取り出せなくなったときは

この方法でディスクを取り出す前に、PART4の「その他」-「DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった」をご覧になり、ディスクが取り出せないか試してください。

パソコンの電源が入っているにもかかわらずディスクトレイが出てこなくなった場合は、次の操作でディスクを取り出してください。

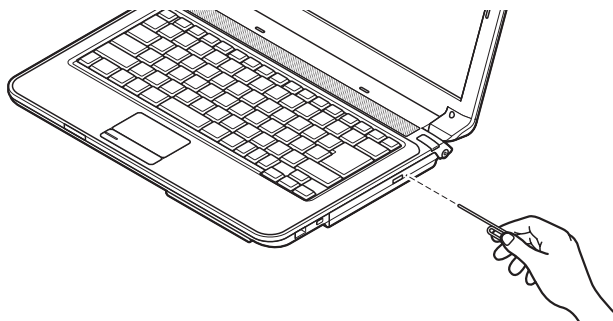
⚠注意

ペーパークリップを使うときは、ペーパークリップのとがった部分で指を切ったりしないように、注意して作業してください。

1 パソコンの電源を切る

2 太さが1.3mm程度、まっすぐな部分の長さが45mm程度(指でつまむ部分を除く)の針金を用意する

大きめのペーパークリップを伸ばして作ることができます。

3 非常時ディスク取り出し穴に、手順2で作った針金を差し込み、押し込む

ディスクトレイが少し飛び出します。

4 ディスクトレイを引き出し、ディスクを取り出す

メモ

パソコンの電源が入っていないと、DVD/CDドライブのイジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。

インターネットに接続するには

このパソコンでインターネットを利用するために必要な準備を説明します。

インターネットを楽しむための準備

このパソコンでインターネットを楽しむには、次の準備が必要です。

●インターネット回線

FTTH、ADSLなどのインターネット回線が必要です。
ご家庭にインターネット回線が無い場合は、回線業者との契約が必要です。

●プロバイダとの契約

特にプロバイダを決めていない場合、BIGLOBEに入会することをおすすめします。
インターネット接続の方法によって、接続、設定方法が異なります。
このマニュアルでは、FTTHの回線を使い、ワイヤレスLANでインターネット接続する場合を例に説明しています。有線LANでインターネットに接続する場合は、「LANについて」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93100010 で検索)をご覧ください。

チェック!!

このパソコンでは、ダイヤルアップ接続でインターネットに接続することはできません。
現在、ダイヤルアップ接続でインターネットに接続している場合、契約の変更などが必要になります。

接続設定の進め方

はじめてインターネットに接続するかたや、これまでダイヤルアップ接続を利用されていたかたは、この後の説明をご覧ください。

すでにインターネットへの接続環境をお持ちのかたは「ワイヤレスLANを利用したブロードバンド接続をする」(p.18)へ進んでください。

設定に必要なもの

ワイヤレスLANの設定には、次のものが必要です。

●回線事業者やプロバイダから入手した資料

プロバイダの会員証など、ユーザー名やパスワードがわかる資料を用意してください。また、プロバイダから入手した接続設定用説明書やCD-ROMなどがある場合、その説明書やCD-ROMにしたがって設定をおこなってください。

●回線終端装置

●ワイヤレスLANアクセスポイントまたはワイヤレスLANルータ

このパソコンでは、IEEE802.11b/g、IEEE802.11n(2.4GHz)に対応しています。

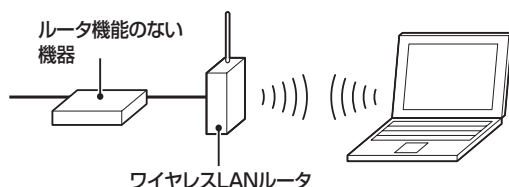
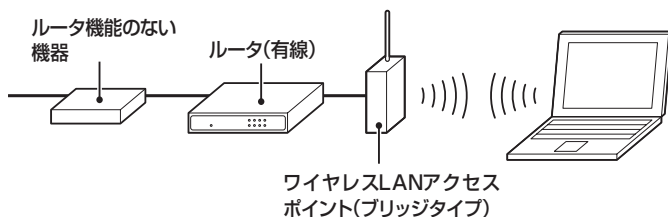
このマニュアルでは、ルータが接続されている例を使って説明します。

チェック!!

・お使いの機器やプロバイダにより設定は大きく異なります。お使いの機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書、メーカやプロバイダのホームページなどで設定を確認してください。
・機器を購入するときは、回線終端装置やワイヤレスLANの種類を見て接続できるかどうか確認してください。

機器を接続する

回線終端装置とネットワーク機器を次のように接続してください。

回線終端装置の場合

回線終端装置とルータを有線で接続する場合

接続が終わったらパソコンの設定を変更します。

チェック!!

・詳しい接続方法については、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書などをご覧ください。
・プロバイダから送られてくる接続機器にルータ機能が内蔵されている場合、ルータの設定が不要な場合があります。詳しくはプロバイダから入手した説明書などを確認してください。

ルータの設定をする

はじめてインターネットに接続する場合は、ルータにプロバイダから送られてきた接続情報が設定、登録されていないと、インターネットに接続できません。詳しくは、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書などをご覧になり設定してください。

ワイヤレスLANを利用したブロードバンド接続をする

ワイヤレスLANの接続と設定をおこないます。

プロバイダとの契約やネットワーク機器との接続が完了したら、パソコンの設定を変更してインターネットに接続します。
ここでは、ワイヤレスLANでインターネットに接続する場合を例に説明します。有線LANでインターネットに接続する場合は、「LANについて」（「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93100010 で検索）をご覧ください。

チェック!!

- CATV（ケーブルテレビ）接続を利用されていたかたは、ご契約のケーブルテレビ局にパソコンを買い替えたときの設定方法についてお問い合わせください。
- 機器を購入するときは、回線終端装置やワイヤレスLANの種類を見て接続できるかどうか確認してください。

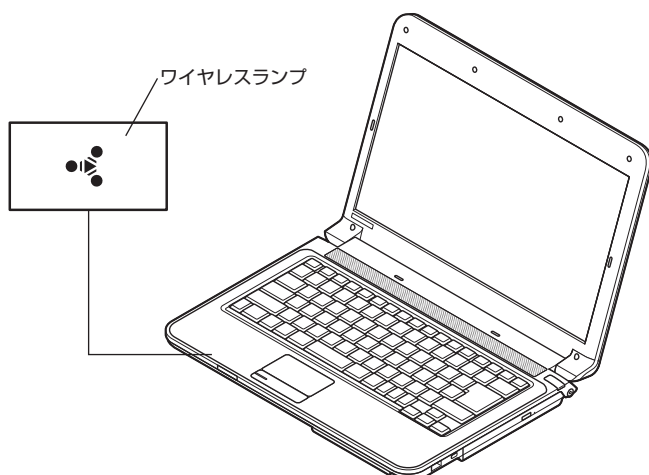
アクセスポイントの情報を確認する

パソコンの設定では、接続するワイヤレスLANアクセスポイントのネットワーク名（SSID）、WEPキー（セキュリティキーまたはパスフレーズ）が必要になります。設定を確認して次の欄に設定を控えてください。

ネットワーク名（SSID）

WEPキー（セキュリティキーまたはパスフレーズ）

ワイヤレスLAN機能を確認する

キーボードの【Fn】を押しながら【F2】を押すと、ワイヤレスLAN機能のオン/オフを切り換えることができます。

- ご購入時の状態では、ワイヤレスLAN機能はオンになっています。
- ワイヤレスLAN機能がオンのときは、ワイヤレスランプが点灯します。
- もう一度キーボードの【Fn】を押しながら【F2】を押すと、ワイヤレスLAN機能がオフになり、ワイヤレスランプが消灯します。

ワイヤレスLAN機能がオフになっていると接続できません。

パソコンの設定をする

ルータとの接続を設定するためにパソコンの設定を変更してください。

1　ワイヤレスランプが点灯していることを確認する

点灯していない場合は、【Fn】+【F2】を押し、ワイヤレス機能を有効にしてください。

2　「スタート」-「コントロールパネル」をクリック

コントロールパネルが表示されます。

3　「ネットワークとインターネット」をクリック

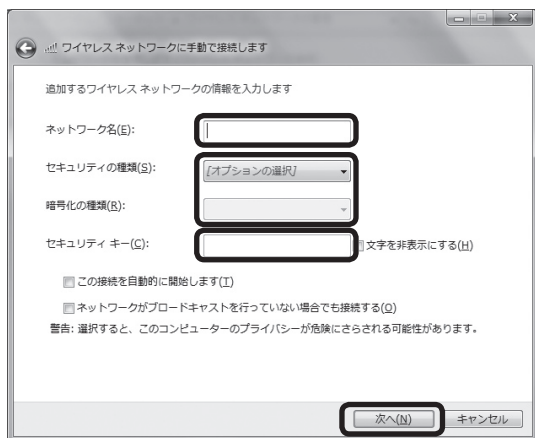
4　「ネットワークと共有センター」をクリック

「ネットワークと共有センター」が表示されます。

5　「ワイヤレスネットワークの管理」をクリック

6　「追加」をクリック

7　「ネットワークプロファイルを手動で作成します」をクリック

8　確認したアクセスポイントの情報を使って、接続するネットワークの情報を入力して「次へ」をクリック

9　「閉じる」をクリック

ワイヤレスLANが接続され、デスクトップ画面右下の通知領域にが表示されます。

「ネットワークの場所の設定」の画面が表示された場合は、画面の説明を読んで設定してください。

これでインターネットに接続するための設定は終わりです。
タスクバーの(Internet Explorer)アイコンをクリックし、接続を試してください。

チェック!!

Windows 7では、ここで説明する方法以外にもワイヤレスLANアクセスポイントを自動でスキャンしてから接続する方法にも対応しています。

参照

ワイヤレスLANアクセスポイントをスキャンして接続する場合について
→「ワイヤレスLAN接続の設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93100140 で検索

チェック!!

ワイヤレスLANはセキュリティの対策をしっかりしないと外部からネットワークに入られて無断で利用され、情報を読まれてしまう危険があります。ワイヤレスLANを使うときは暗号化など、セキュリティをしっかり設定してください。

参照

ワイヤレスLANのセキュリティについて
→「ワイヤレスLANのセキュリティに関するご注意」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93100120 で検索

メールソフトを設定する

このパソコンには、メールをやりとりするためのソフトが用意されています。

電子メールの設定のしかたについては、「ソフト＆サポートナビゲーター」をご覧ください。

・ Outlook 2010(Office 2010モデルのみ)を設定するには
→「Outlook 2010の設定」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91065010 で検索

・ Windows Live メールを設定するには
→「Windows Live メールの設定」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91065020 で検索

・ メールの設定がうまくいかないときやほかのパソコンからメールのデータを移行したいときは
→「メール接続」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 92060040 で検索
→「メール操作・設定」
▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 92060050 で検索

・ メールのセットアップ、インストールについての不明点は日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。
お問い合わせ先については
▶「ソフトのサポート窓口一覧」▶検索番号 92145010 で検索

パソコンを安全に使うための設定をおこなう

コンピュータウイルスなどからパソコンを守るためには、定期的な対策が必要です。

ウイルス対策をする

このパソコンにはウイルス対策ソフト「ウイルスバスター」がインストールされています。
「ウイルスバスター」でウイルス対策を始めるための手順について詳しくは、「ソフト&サポートナビゲーター」をご覧ください。

このパソコンの「ウイルスバスター」は、パソコンの使用を始めてから3日間、ユーザー登録をしていなくても試用できます。ユーザー登録をすると、さらに90日間、無料で試用することもできます。無料期間を過ぎると、すべての機能が利用できなくなり、セキュリティ対策をおこなうことができません。無料期間終了後も継続して利用するには、ダウンロード販売またはパッケージなどの製品版を購入し、シリアル番号を入力する必要があります。

参照
ウイルスバスターの登録のしかたや、アップデートの方法について
→「ウイルス対策ソフトを使い始める」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91040020 で検索

その他のセキュリティ対策について

「ウイルスバスター」のほかに、パソコンを保護するために、次のようなセキュリティ対策があります。

Windows Updateをする

このパソコンのWindowsの状態などをチェックし、更新プログラムを無料配布するMicrosoftのサポート機能です。ご購入時の状態では、Windowsの更新プログラムの自動更新機能が有効に設定されています。インターネット経由でWindowsを最新の状態にし、ウイルスや不正アクセスに備えることができます。

参照
Windowsの自動更新について
→「Windowsの更新」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91060010 で検索

ファイアウォール機能を使う

ファイアウォール機能とは、外部(インターネット)からの不正侵入を防ぎ、情報の流出を防ぐ機能のことです。このパソコンでは「Windowsファイアウォール」に加え「ウイルスバスター」のファイアウォールチューナー機能を追加で使うことができます。セットアップ後には「Windowsファイアウォール」のみが有効になっています。

「ソフト&サポートナビゲーター」ではこのほかに、ワイヤレスLANの通信の暗号化やお子様を有害ホームページから守るための方法など、さまざまなセキュリティ対策について説明しています。ご使用の状況に合わせてご覧ください。

参照
ファイアウォールについて
→「不正アクセスの防止」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91050010 で検索

参照
セキュリティ対策について
→「安全に使うためのポイント(セキュリティ対策)」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91030010 で検索

大切なデータの控えを取っておく（バックアップの種類と方法）

トラブルが起きたときに備えて、大切なデータは控えを取っておきましょう。

ハードディスクの故障やウイルスの感染など、パソコンに大きなトラブルが起こると、保存していたデータが壊れたり消えてしまったりすることがあります。
もしものときに備えて、データの控えを残しておきましょう。このデータの控えのことを「バックアップ」と呼び、バックアップを作成することを「バックアップする」、「バックアップを取る」といいます。

「FlyFolder」は、複数のパソコンのデータを同期させるためのソフトです。このソフトの自動ファイル保存機能を使って、任意のフォルダのファイルをバックアップすることもできます。
指定したフォルダに自分で作成したデータを保存したり、そのデータを更新するたび、自動でバックアップデータが作成されます。

チェック!!

- もっと手軽にバックアップしたいかた、バックアップをつい忘れてしまうかたのために、NECでは「オンライン自動バックアップ(有料)」もご用意しております。
- バックアップを取ったデータの内容を確認したり、直接編集することはできません。

FlyFolderでフォルダを指定してバックアップする

FlyFolder使用上の注意

- ご購入時のDドライブの容量は65Gバイトです。大容量のバックアップをおこなうときは、Dドライブ以外の場所を選んでください。
- 外付けハードディスクやネットワーク上の別のパソコンへのバックアップも設定できます。また、BIGLOBEのサービス「オンラインストレージ for FlyFolder」(有償)を活用すれば、インターネット上にバックアップすることもできます。詳しくは、FlyFolderのヘルプをご覧ください。
- FlyFolderを搭載した複数のパソコンで同じ保存設定をしておけば、各パソコンのデータを共有することもできます。詳しくは、FlyFolderのヘルプをご覧ください。
- メールのデータは「FlyFolder」を使ってバックアップすることはできません。
- 購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、通常のコピーの操作や、「FlyFolder」を使ってバックアップを取ることができません。購入に使用したソフトなどを使ってバックアップしてください。

バックアップするフォルダを指定する

「FlyFolder 設定ツール」を使って、バックアップ先のフォルダ、およびバックアップの対象となるフォルダとファイルの種類を設定する操作について説明します。ここでは、パソコンのDドライブにバックアップする操作を例に説明しています。

あらかじめ、バックアップしたデータを保存するためのフォルダ(バックアップ先フォルダ)を、エクスプローラなどで作成しておいてください。また、必要に応じて、そのフォルダにアクセス制限を設定しておいてください。

1 **タスクバーの (ソフト&サポートナビゲーター)アイコンをクリック**

2 **「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「FlyFolder」の「ソフトを起動」をクリック**

「FlyFolder 設定ツール」が起動します。

インストールの画面が表示されたときは、画面の指示にしたがってインストールしてから、次の手順に進んでください。

3 **「次へ」をクリック**

保存先のフォルダに関する設定画面が表示されます。

4 **保存先のフォルダに関する設定をする**

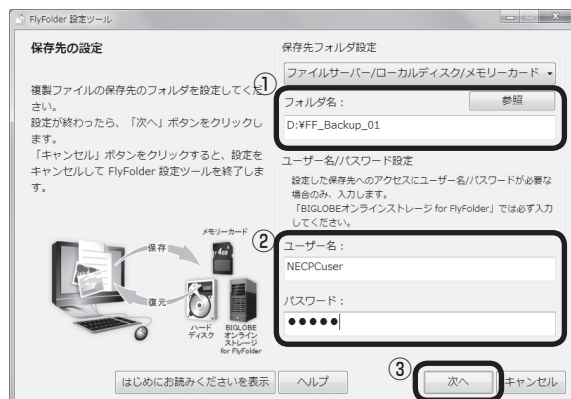
① 保存先フォルダを設定する

「フォルダ名」に保存先のフォルダ名をパスも含めて入力してください。

「参照」をクリックしてフォルダを選ぶこともできます。

② ユーザー名とパスワードを設定する

保存先のフォルダにアクセス制限が設定されているときは、アクセスするためのユーザー名とパスワードを入力してください。

③ 「次へ」をクリックする

「保存対象項目」の一覧が表示されます。

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

- Windowsの起動ドライブにあるフォルダは、保存先フォルダとして設定できません。
- ユーザー名とパスワードは、保存先のフォルダに設定されたアクセス制限の内容に合わせて入力してください。

保存設定の削除に関するメッセージが表示されたときは、メッセージの内容を確認し「OK」をクリックしてください。

5　保存したい「対象項目名」に が付いていることを確認して、「完了」をクリック

保存したい「対象項目名」が のときは、クリックして を付けてください。

バックアップが取れるのは、 が付いているデータだけです。「新しい対象項目名の追加」をクリックすると、自分で購入したソフトなど、パソコン購入時に添付されていたソフト以外のデータを保存対象に登録できます。

再起動を促す画面が表示されます。

6　「今すぐ再起動」をクリック

Windowsが再起動します。

再起動後、設定した内容にしたがってバックアップがおこなわれ、その後、「設定した内容を反映します。」というメッセージが表示されます。

7　表示された内容を確認し、「はい」(または「いいえ」)をクリック

通常は「はい」を選んでください。初回復元で同じ名前のファイルを上書きしてもよいときは、「いいえ」を選んでください。

初回設定(保存先のファイルと保存対象のファイルの照合と復元)がおこなわれます。これで、FlyFolderの設定が完了しました。

・設定が完了すると、設定された内容にしたがって自動的にファイルの保存がおこなわれます。
・必要に応じて、FlyFolderの保存を手動でおこなうこともできます。詳しくは、FlyFolderのヘルプをご覧ください。

バックアップしたデータを復元する

「FlyFolder」でバックアップされたデータは、以下の手順で復元できます。

1　画面右下の通知領域にある をクリックして表示される を右クリックする

操作メニューが表示されます。

2　「ファイル復元」をクリック

ファイルの復元をおこなうか確認するための画面が表示されます。

3　「はい」をクリック

バックアップされていたデータの復元処理が開始され、終了すると「復元が完了しました」というメッセージが表示されます。

チェック!!

必要に応じて、保存されたデータを自動で復元するように設定することもできます。詳しくは、FlyFolderのヘルプをご覧ください。

その他のバックアップ方法について

著作権が保護されたデータのバックアップを取る

購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、通常のコピーの操作や、「FlyFolder」を使ってバックアップを取ることができません。
購入に使用したソフトなどを使ってバックアップしてください。

購入した音楽データのバックアップや退避については、購入に使用したソフトのヘルプをご覧ください。

手動でバックアップを取る

大切なデータを、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどにコピーして保存しておくのも手軽なバックアップの方法です。いざというときは、それらのデータを使ってパソコンの状態をある程度まで復旧させることができます。
この作業を定期的におこなえば、より効果的です。

そのほかのバックアップ方法

そのほか、このパソコンでは次のようなバックアップ方法も利用できます。

- Windowsの「バックアップと復元」を使う
  コントロールパネルの「バックアップと復元」で、ファイルやフォルダを、バックアップしたり復元したりすることができます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。
- 「データファイナルレスキュー」を使う
  Windowsが正常に起動しないときでも、「データファイナルレスキュー」を使ってバックアップを取ることができます。詳しくは、PART3の「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.53)をご覧ください。

チェック!!

- 購入した音楽データなど、著作権が保護されたデータは、この方法ではコピー(バックアップ)できません。
  購入に使用したソフトなどを使ってバックアップしてください。
- 外付けハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。

PART

2

このパソコンのおすすめ機能

ここでは、外出時に便利な機能など、このパソコン特有の機能について説明しています。パソコンの設定が終わったら、このPARTをご覧になり、あなたのパソコンライフに役立ててください。

複数のパソコンを使う

複数のパソコンをお持ちの場合に便利な機能を紹介します。

このパソコンには、複数のパソコンでデータを共有する機能が用意されています。
FlyFolderを使って特定のフォルダを常に同期をとるように設定すると、最新のデータを共有できます。
詳しい内容については、「複数台利用でできること」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 91090010 で検索)をご覧ください。

モバイルパソコン活用のヒント

ここでは、外出時に便利な機能や情報について紹介しています。

外出先でインターネット

●ワイヤレスLANを利用する

駅や空港、ホテル、カフェなどで提供されるワイヤレスLANサービスを利用し、ブロードバンド接続ができます。

また、こういったサービスが提供されない場所でも、通信カードや携帯電話接続ケーブルを使ってインターネットにアクセスできます。

チェック!!

ワイヤレスLANサービスの内容、申し込み方法、利用する場所などについては、サービスを提供する事業者によって異なります。サービスの詳しい内容については、事業者にお問い合わせください。

外出先でのセキュリティ対策

外出先では、ファイアウォールやウイルス対策ソフトによる不正アクセス防止策やデータ保護策とともに、パソコン本体の置き忘れや盗難にも注意してください。
もし置き忘れなどにより他人の手に渡ってしまったとしても、情報を悪用されないように予防しておくことが大切です。

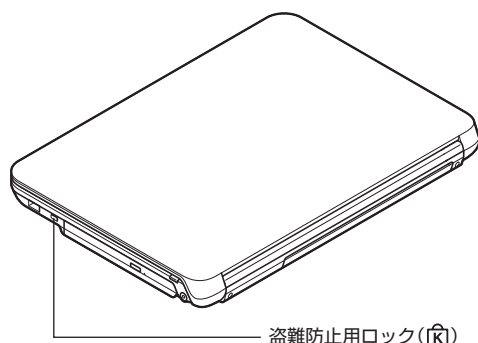
●セキュリティを万全にする

ワイヤレスLANサービスでは、不特定多数のパソコンが同一のLANに接続されます。このパソコンに添付されている「ウイルスバスター」やセキュリティ機能を利用して、十分なセキュリティ対策をとってください。

●パスワードをかける

BIOS(バイオス)による「パソコン起動時のパスワード」や「内蔵ハードディスクにパスワードロックをかける方法」などのパスワード機能を組み合わせて使えば効果的です。

●盗難防止グッズを使う

パソコン本体の盗難防止には別売のセキュリティケーブル(PC-VP-WS15)が効果的です。また、設定した範囲からパソコンを移動しようとすると、警告音を発したり起動ロックがかかったりするような盗難防止グッズもあります。

参照

・「ウイルスバスター」の設定、使い方について
　→「ウイルス対策ソフトを使い始める」
　▶「ソフト&サポートナビゲーター」
　▶検索番号 91040020 で検索
・セキュリティについて
　→「安全に使うためのポイント(セキュリティ対策)」
　▶「ソフト&サポートナビゲーター」
　▶検索番号 91030010 で検索
・「BIOS」について
　→「ハードウェア環境の設定」
　▶「ソフト&サポートナビゲーター」
　▶検索番号 93220040 で検索

バッテリを長持ちさせるコツ

外出先でのバッテリ切れは心配のタネですが、ほんの少し気を配るだけでも意外に長持ちします。ここではバッテリを長持ちさせるコツを紹介します。

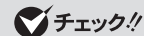
●正しい充電でバッテリ性能をキープする

充電はできるだけバッテリ残量が0%に近い状態になってから、残量が100%になるまでフル充電するのが理想です。また、充電できる電池容量は周囲の温度によって異なります。たとえば、真夏の暑い部屋では、高温により充電が中断されることもあります。

参照
正しい充電のしかたについて
→「バッテリ」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93150010 で検索

●残量が少なくなったら

ここにマウスポインタを合わせるとバッテリ残量の目安が表示されます。

- 電源ランプがオレンジ色に点灯したら
  バッテリ残量が少なくなっています。早めに充電してください。
- 電源ランプがオレンジ色に点滅したら
  バッテリ残量が残りわずか(自動的に休止状態に入る)です。すぐにACアダプタを取り付けてください。

チェック!!
パソコン本体がスリープ状態のときは、電源ランプは点滅します(バッテリ残量がない場合を除く)。

●長時間の外出や出張には

外出時の使用がメインの場合は、交換用のバッテリパックを用意することを特におすすめします。
また、バッテリ切れに備えて、ACアダプタと電源コードを忘れずに用意しておきましょう。

●ECOモードに切り換える

このパソコンでは、Windowsのシステムと電力に関する設定は「電源プラン」で管理しています。状況に応じて、電力を節約したり、電力とパフォーマンスのバランスをとったりすることができます。

電源プランの設定	説明
LaVie	パフォーマンスと電力のバランスをとった設定です。ご購入時の状態では、このプランに設定されています。
ECO	パフォーマンスよりも電力の節約を優先した設定です。

電源プランは、次の手順で変更できます。

1 「スタート」-「コントロールパネル」-「システムとセキュリティ」-「電源オプション」をクリック

2 切り換えたい電源プランの○をクリックして◉にする

参照
電源プランの設定を変更し、より柔軟な省電力設定をすることもできます。
省電力設定について
→「省電力機能」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93160010 で検索

文字やアイコンサイズの変更

画面の文字が小さいときなどに、文字やアイコンの大きさを変更できます。

パソらく設定で変更する

パソらく設定はWindowsの設定の変更をお手伝いするソフトです。

1 タスクバーの（ソフト＆サポートナビゲーター）アイコンをクリック

2 「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「パソらく設定」-「ソフトを起動」をクリック

パソらく設定が起動します。

3 「画面の表示を見やすくする」の「設定画面へ」をクリック

4 好みのサイズを選んでクリック

5 「終了」をクリック

6 「保存して終了」をクリック

7 「今すぐログオフ」をクリック

参照

- 「大（125%）」の文字を選択した場合、画面の一部が切れて表示されないことがあります。画面の大きさ（ウィンドウサイズ）の変更や操作ができなくなった場合は、文字サイズを小さく設定してください。
- 「パソらく設定」では、文字やアイコンの大きさを変更するほかに、デスクトップの壁紙やスクリーンセーバーの変更もできます。
- 変更した設定をもとに戻すときは、「パソらく設定」のトップページで「購入時の設定に戻す」の「設定画面へ」をクリックし、表示された画面で「戻す」をクリックしてください。以降の操作は、画面の指示にしたがってください。

PART

3
再セットアップ

パソコンを起動できなくなったときなどの「最後の手段」が再セットアップです。再セットアップをおこなうと、パソコンに保存されている大切なデータや設定の内容などが失われてしまうことがあります。作業を始める前に、このPARTの説明をよくお読みください。

再セットアップを始める前に

再セットアップの意味を理解して、いくつかのトラブル解決手段を試してみましょう。

パソコンをご購入時の状態に戻す、再セットアップ

再セットアップとは、パソコンを買ってきた直後におこなうセットアップ(準備作業)をもう一度おこなって、パソコンの中をご購入時の状態に戻すことです。エラーメッセージが何度も表示されたり、フリーズ(画面の表示が動かなくなること)が多くなったりしたときは、意識しないうちにパソコンのシステムが壊れたり、設定が変更されてしまった可能性があります。
再セットアップすると、パソコンをご購入時の状態に戻すことができます。しかし、再セットアップをおこなうと、自分で作って保存しておいた文書や電子メールの内容、アドレス帳などがすべて消えてしまいます。どうしてもトラブルを解決できないときの最後の手段として再セットアップをおこなってください。大切なデータは、再セットアップの前にデータのバックアップ(データの控えを残しておくこと)を取ってください。

チェック!!
Windowsが正常に起動しない場合でも、電源が入る状態ならバックアップを取ることは可能です。詳しくは「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.53)をご覧ください。

再セットアップの前に試すこと

再セットアップを始める前に、次のことを試してみてください。問題が解決することがあります。

●ウイルスチェックをおこなう

ウイルスとは、パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムです。インターネットやメールを経由してパソコンに入り込んだり、ウイルスに感染したディスクからパソコンに感染してしまうこともあります。
知らないうちに保存したデータが消えていたり、意味不明な文字や絵が突然画面に表示されたりしたときは、次のようにしてウイルスをチェックしてください。
ウイルスが駆除されればパソコンが正常に使えるようになることがあります。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「ウイルスバスター2011 クラウド」-「ウイルスバスター2011 クラウドを起動」をクリック**

ウイルスバスターの画面が表示されます。

2 **「検索開始」の右の▼をクリックし、表示されたメニューから「コンピュータ全体の総合検索」をクリック**

ウイルスのチェックが完了するまでにしばらく時間がかかります。ウイルスが見つかったときは、画面に表示される指示にしたがって操作してください。

チェック!!
- ウイルスチェックは、常に最新のウイルス情報をもとにおこなう必要があります。「ウイルスバスター」は、インターネット上のクラウド(サーバ)上の情報を使用して通信をおこないながらウイルスのチェックをおこなうため、インターネットに接続している必要があります。また、ユーザー登録した日から90日間、無料で試用することができます。
- ユーザー登録やクラウドを使用したウイルスチェックはインターネット接続が必要となるため、インターネット接続料金や電話料金などがかかります。特に携帯端末など、インターネット接続を従量制で契約されている場合は、通信料金にご注意ください。ウイルスバスターについて詳しくは、「ウイルスバスター」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 94140122で検索)をご覧ください。

3 「閉じる」をクリック

●セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でパソコンを起動してみる

電源を入れてもパソコンが正常に起動しないときなどは、次のようにしてパソコンをセーフモードで起動してください。

1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 パソコン本体の電源を入れる

3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す

4 「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「セーフ モード」を選び、【Enter】を押す

ログオンパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
ユーザーを複数設定している場合は、自分のユーザーアカウントを選んでください。
これで、パソコンをセーフモードで起動することができました。
パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。

この後、再起動して問題なければ、正常な状態に戻ります。

セーフモードについて詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」で「セーフ モード」と入力して検索してください。

メモ

セーフモードは、Windowsの機能を限定して、必要最小限のシステム環境でパソコンを起動する、Windowsの起動モードのひとつです。通常の操作ではパソコンが起動しない場合でも、セーフモードならば起動できることがあります。

チェック!!

セーフモードでは、Windowsの最小限の機能しか使えません。

●データのバックアップを取る

パソコンでトラブルが起きたとき、Windowsそのものやこのパソコンに添付のソフトは、システムの修復や再セットアップで復元する(正常な状態に戻す)ことができますが、自分で作成した文書や、住所録、電子メール、インターネットの設定などはもとには戻せません。大切なデータを失わないためには、これらの方法をおこなう前にDドライブ、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに、必ずデータのバックアップを取ってください。
バックアップについて詳しくは、PART1の「大切なデータの控えを取っておく(バックアップの種類と方法)」(p.23)をご覧ください。

また、音楽データなどの著作権保護されたデータのバックアップまたは退避については、音楽データを購入したソフトのヘルプをご覧ください。

●システムの復元を試みる

システムの復元によって、トラブルが発生する前の「復元ポイント」を指定して、Windowsを構成する基本的なファイルや設定だけをもとに戻すことができます。この方法を使うと、「ドキュメント」フォルダなどに保存しておいたデータの多くをそのまま残しておくことができます。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システムの復元」の順にクリック**

2 **「システムの復元」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック**

「システムの復元」の画面に「別の復元ポイントを選択する」がある場合、この項目を◉にして「次へ」をクリックすると一覧から使用したい復元ポイントを選択できます。復元ポイントを選んで「次へ」をクリックしてください。さらに古い復元ポイントを使う場合は、表示された画面で「他の復元ポイントを表示する」を選択してください。

手順2で「次へ」をクリックしたときに一覧が表示された場合は、一覧から使用したい復元ポイントを選んで「次へ」をクリックします。さらに古い復元ポイントを使う場合は、表示された画面で「他の復元ポイントを表示する」を選択してください。

3 **「復元ポイントの確認」が表示されたら、内容を確認して「完了」をクリック**

4 **確認の画面が表示されたら「はい」をクリック**

選択した「復元ポイント」の時点にさかのぼって、パソコンのシステムが復元されます。
しばらくすると、自動的にパソコンが再起動します。

5 **「システムの復元は正常に完了しました。…」と表示されたら、「閉じる」をクリック**

これで、システムの復元は完了です。

メモ

Dドライブは、ハードディスクの中にありますが、システムの復元やCドライブのみ再セットアップをおこなうときには影響を受けないので、一時的なバックアップ先には適しています。

チェック!!

- Cドライブの領域を変更して再セットアップ、ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップする場合は、再セットアップ後にDドライブのデータも消えてしまいます。別途DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどへデータのバックアップを取っておいてください。
- ご購入時の状態では、Dドライブ以外にバックアップを取れません。外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。

チェック!!

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

チェック!!

- システムの復元をおこなう前にデータのバックアップを取ってください。システムを修復することで大切なデータが失われることがあります。
- システムの復元をおこなうときは、前もって起動中のソフトを終了させてください。
- Windowsが正常に起動しない場合は、「セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でパソコンを起動してみる」(p.35)で説明した手順にしたがって、パソコンをセーフモードで起動してください。その後、システムの復元をおこなってみてください。
- Windowsが正常に起動しない場合は、「システム回復オプション」からシステムの復元を実行することもできます。「「スタートアップ修復」を使う」(p.37)の手順6で、「システムの復元」をクリックしてください。
- システムの復元を使用した場合は、復元ポイントを作成した後に設定した内容は削除されますので、もう一度設定しなおしてください。

●「前回正常起動時の構成」でシステムを起動する

セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でもパソコンを起動できず、「システムの復元」も実行できない場合、次の手順を試してください。

1 **パソコン本体の電源を入れる**

2 **「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す**

3 **「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「前回正常起動時の構成(詳細)」を選び、【Enter】を押す**

「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

これで、前回正常起動時の構成を使用してパソコンが起動します。

●「スタートアップ修復」を使う

スタートアップ修復は、システムファイルの不足や破損など、Windowsの正常な起動をさまたげる可能性のある問題を解決できる、Windowsの回復ツールです。
パソコンがまったく起動しないときは、「スタートアップ修復」を試してください。パソコンが自動的に問題を診断して修復し、正常に起動できるようになる場合があります。

1 **パソコン本体の電源を入れる**

2 **「NEC」のロゴマークが表示されたら、「詳細ブート オプション」が表示されるまで、【F8】を何度か押す**

3 **「詳細ブート オプション」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「コンピューターの修復」を選び、【Enter】を押す**

「詳細ブート オプション」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

4 **「システム回復オプション」が表示されたら、そのまま「次へ」をクリック**

5 **自分のユーザー名を選び、パスワードを入力して「OK」をクリック**

パスワードを設定していない場合は、パスワードは入力しないで「OK」をクリックしてください。

6 **「回復ツールを選択してください」と表示されたら、「スタートアップ修復」をクリック**

「スタートアップ修復」が始まります。

7 **修復が終わったら「完了」をクリック**

8 **「シャットダウン」または「再起動」をクリックしてシステム回復オプションを終了する**

強制電源断など、パソコンが正常に終了されなかった場合、次回パソコン起動時には、自動的にスタートアップ修復が起動する場合があります。その場合は、画面の指示にしたがい、コンピュータを復元してください。ただし、復元ポイントを作成した後に設定した内容は削除されますので、もう一度設定しなおしてください。

再セットアップする（Cドライブのみ）

このパソコン内にあるCドライブの内容をご購入時の状態に戻します。

ハードディスクに格納されている再セットアップ領域のデータ(NEC Recovery System)を、Cドライブに書き込んで再セットアップします。ハードディスクの領域の変更はしません。

●こんなことができます

・ Cドライブのデータを手軽にご購入時の状態に戻せます
  Dドライブのデータは保護されます

●こんなかたにおすすめ

・ 再セットアップしたいほとんどのかたにおすすめ
・ まだパソコンに慣れていないかた、ハードディスクのフォーマットなどの経験がないかたは、必ずこの方法で再セットアップしてください

●再セットアップの流れ

再セットアップは次の13項目の作業を連続しておこないます。項目によっては(　)内におよその作業時間を示していますが、実際にかかる時間はモデルやパソコンの使用状況で異なります。

1. 必要なものを準備する
2. バックアップを取ったデータを確認する
3. インターネットの設定を控える
4. ユーザー名を控える
5. BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ
6. 市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す
7. システムを再セットアップする(約30分〜1時間※)
   ※再セットアップ方法によっては1時間30分程度かかることがあります。
8. Windowsの設定をする(約30分〜1時間)
9. 市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす
10. 市販のソフトをインストールしなおす
11. バックアップを取ったデータを復元する
12. インターネット接続の設定などをやりなおす
13. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

チェック!!

・ ハードディスクの状態をご購入時から変更(パーティションの追加・削除、ダイナミックディスクなど)した場合、Cドライブのみ再セットアップすることはできません。
・ この方法で再セットアップをすると、Cドライブに保存されているデータはすべて削除されますので、必要なデータは再セットアップの前にバックアップを取っておく必要があります(p.36)。
・ 再セットアップは中断しないでください。

再セットアップする

●バックアップは終わっていますか?

再セットアップをおこなうと、Cドライブに保存したデータはすべて失われます。再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップを取ってください。

●再セットアップを始めたら、途中でやめない!

再セットアップは、すべての作業項目を最後まで続けて作業することが必要です。
途中でやめてしまうと、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

1. 必要なものを準備する

このパソコンの添付品から、次のものを準備してください。

- 「Microsoft Office 2010」DVD-ROMとプロダクトキー
- 『ユーザーズマニュアル』(このマニュアル)
- 『セットアップマニュアル』

そのほか、このパソコンをご購入後に自分でインストールしたソフトがある場合、そのマニュアルをご覧になり、インストールに必要なCD-ROMなどを準備してください。

2. バックアップを取ったデータを確認する

バックアップを取ったデータの内容を、もう一度確認してください。まだバックアップを取っていなかったり、バックアップに失敗していたときは、バックアップを取りなおしてください。
「データファイナルレスキュー」(p.53)を使ってバックアップを取ることもできます。

3. インターネットの設定を控える

再セットアップをおこなっても、インターネット接続の設定は自動的には復元されません。インターネットを利用している場合、プロバイダの会員証を用意してください。会員証がない場合は、次の項目をメモしてください。

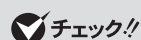
- ユーザーID
- パスワード
- 電子メールアドレス
- メールパスワード
- プライマリDNS
- セカンダリDNS
- メールサーバ
- ニュースサーバ

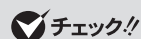
参照

バックアップについて→PART1の「大切なデータの控えを取っておく(バックアップの種類と方法)」(p.23)、このPARTの「データのバックアップを取る」(p.36)をご覧ください。

メモ

ここでは、「Office Home & Business 2010」または「Office Personal 2010」を「Microsoft Office 2010」と呼んでいます。

チェック!!

- 再セットアップ後、Office 2010のソフトを最初に使用するときは、プロダクトキーの入力が必要になります。プロダクトキーは、「Microsoft Office 2010」のDVD-ROMケースに記載されています。
- PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターで購入した再セットアップディスクを使って再セットアップした場合、再セットアップ時には、「Microsoft Office 2010」はインストールされません。別途、「Microsoft Office 2010」のインストールが必要になります。
  詳しくは、ご購入された再セットアップディスクに添付のマニュアルをご覧ください。

チェック!!

必要に応じて、LANの設定を控えてください。

4. ユーザー名を控える

このパソコンをご購入後、はじめて電源を入れておこなったセットアップ作業で設定したユーザー名を確認し、次の「ユーザー1」の欄に控えておきます。「8.Windowsの設定をする」の作業をおこなうときに、このユーザー名が一致しないとデータが復元できなくなってしまいます。

	ユーザー名
ユーザー1(1人目)	
ユーザー2(2人目)	
ユーザー3(3人目)	
ユーザー4(4人目)	

5. BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ

BIOSの設定を変更している場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動して、変更した内容をメモしてから、設定を初期値に戻してください。この作業は、BIOSの設定を変更していない場合は必要ありません。手順について詳しくは、PART4の「パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない」(p.70)をご覧ください。

6. 市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器は、すべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っているLANケーブルも取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレススイッチをオフにしてください。

7. システムを再セットアップする

次の手順で操作してください。

1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 パソコン本体の電源スイッチを押して電源を入れる

3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます...」が表示されるまで、【F11】を何度か押す

チェック!!

・家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合は、それらのユーザー名も一緒に控えておくことをおすすめします。

・ユーザー名を控えるときは、「大文字と小文字の区別」に注意してください。

チェック!!

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

チェック!!

操作を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。バッテリだけでは再セットアップできません。

4 **「「Windows 7 再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容を確認し、「確認しました」をクリックして☑にしてから、「OK」をクリック**

「「Windows 7 再セットアップ」実行中の注意」の画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。
何度かやりなおしても通常のように起動してしまう場合は、【F11】を押すタイミングを変えたり、コントロールパネルから起動してください(p.77)。

5 **「Windows 7 再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック**

ここでバックアップを取りたい場合は「データを退避する(データファイナルレスキュー)」を選んでください。外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップを取る場合は、USB機器をUSBコネクタに接続し、バックアップが完了したら、再セットアップをおこなう前に取り外してください。

6 **「Cドライブのみ再セットアップ」をクリック**

7 **確認の画面が表示されたら、「はい」をクリック**

再セットアップが始まり、「イメージの復元」の画面が表示されます。
再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れないでください。
「パソコンを再起動します。」の画面が表示されるまで、何も操作しないでください。操作画面を終了などすると、再セットアップに失敗するばかりでなく、再セットアップ領域自体が壊れてしまう可能性があります。

8 **「パソコンを再起動します。」の画面が表示されたら、「再起動」をクリック**

「再起動」をクリックして、パソコンが再起動したら、次の「8.Windowsの設定をする」へ進んでください。

チェック!!

通常、再セットアップをする場合は、市販の周辺機器をすべて取り外してください。

チェック!!

- 「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたときは、「戻る」をクリックし、手順6からやりなおしてください。
- メモリースロットにメディアがセットされていると、再セットアップが途中で停止してしまうことがあります。再セットアップが途中で停止したときは、メモリースロットを確認し、メディアがセットされていたら取り外してください。
- 「パソコンを再起動します。」の画面が表示されなかったときは再セットアップが正常におこなわれていません。「7. システムを再セットアップする」の最初に戻り、操作をやりなおしてください。

8. Windowsの設定をする

このパソコンを買ったときと同じ、セットアップをもう一度おこないます。
セットアップの手順については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。
セットアップが終わっても、周辺機器の接続やバックアップしたデータの復元などの作業が必要です。セットアップが終わったら、このページに戻って、再セットアップを続けてください。

再セットアップ後、「Microsoft Office 2010」を最初に使用するとき

『セットアップマニュアル』の「Office 2010をご購入いただいたお客様へ」をご覧ください。

9. 市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす

ご利用の周辺機器に添付のマニュアルを準備してから作業してください。

1 パソコンの電源を切る

2 取り外した周辺機器を取り付け、それぞれのセットアップや設定をおこなう

10. 市販のソフトをインストールしなおす

パソコンに市販のソフトをインストールしていた場合は、それぞれに添付のマニュアルにしたがってインストールをおこなってください。

11. バックアップを取ったデータを復元する

「データのバックアップを取る」(p.36)でバックアップしたデータを復元してください。なお、「データファイナルレスキュー」(p.53)でバックアップしたデータの復元方法は、「データファイナルレスキューでバックアップしたデータを復元する」(p.56)をご覧ください。音楽データなど著作権保護されたデータは、バックアップしたソフトなどで復元してください。

メモ

ここでは、「Office Home & Business 2010」または「Office Personal 2010」を「Microsoft Office 2010」と呼んでいます。

チェック!!

PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターで購入した再セットアップディスクを使って再セットアップした場合、再セットアップ時には、「Microsoft Office 2010」はインストールされません。別途、「Microsoft Office 2010」のインストールが必要になります。
詳しくは、ご購入された再セットアップディスクに添付のマニュアルをご覧ください。

チェック!!

セットアップや設定の手順、パソコンの電源を入れるタイミングなどについては、各周辺機器に添付のマニュアルにしたがってください。

12. インターネット接続の設定などをやりなおす

再セットアップをおこなうと、インターネット接続の設定もやりなおす必要があります。プロバイダに接続するためのユーザー名やパスワードなどは、入会時に決まったものがそのまま使用できます。サインアップ(入会申し込み)をやりなおす必要はありません。

13. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

必要に応じて、Windows UpdateやMicrosoft Update、その他のソフトのアップデートをおこなってください。また、ウイルス対策ソフトを最新の状態にしてください。
詳しくは、Windowsのヘルプや、各ソフトのヘルプおよびマニュアルをご覧ください。

これで再セットアップの作業は完了です。

チェック!!

- 複数のユーザーのデータをバックアップしていた場合は、ユーザーごとにデータを復元する必要があります。「スタート」-▶-「ログオフ」の順にクリックして、別のユーザーで再ログオンし、ユーザーごとに復元の手順を繰り返してください。
- 複数のユーザーのデータを復元する場合は、復元するユーザーアカウントがあらかじめ作成されている必要があります。作成していない場合は、控えておいたユーザー名をもとにユーザーアカウントを作成してください。
- 「データファイナルレスキュー」で復元するときに、ユーザー名の変更や再セットアップが原因で、バックアップデータが別のユーザーのものと認識されると、復元時に「ご注意」ウィンドウが表示されます。この場合は、「ご注意」ウィンドウで「一時的に次のフォルダに復元する」を選択して復元をおこない、後で「C:￥ユーザー名」フォルダから必要なファイルを取り出して、正しい場所へ適用してください。

Cドライブの領域を変更して再セットアップする

このパソコン内にあるCドライブとDドライブの領域を変更してから、Cドライブをご購入時の状態に戻します。

初心者のかたや、ハードディスクの知識があまりないかたは、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.38)をご覧になり再セットアップをおこなうことを強くおすすめします。

Cドライブの領域サイズを変更できます(最低50Gバイト、1Gバイト単位)。
Cドライブの領域サイズは、最大でもハードディスク全体のサイズから再セットアップ用データを除いたサイズとなります。
Dドライブなどを含め、ハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

●こんなことができます

・Cドライブのサイズを変更する

●こんなかたにおすすめ

・パソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちのかた
・ハードディスクの領域を変更したいかた

再セットアップ手順

1 「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.38)の「1.必要なものを準備する」〜「7.システムを再セットアップする」の手順1〜5までの作業をおこなう

2 「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」をクリック

チェック!!

- この方法で再セットアップをおこなうと、Cドライブだけでなく、Dドライブにあるデータも失われます。操作を始める前に、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
- Cドライブの領域を最大に設定して再セットアップをおこなうと、Dドライブのない構成になります。再セットアップ前にCドライブとDドライブで構成されていたハードディスクはCドライブのみになります。
- Windowsが起動しないなどの理由で、「データファイナルレスキュー」でDドライブにバックアップデータを作成した場合、一度Cドライブのみ再セットアップをおこなってから、DVD-RやCD-R、外付けハードディスクなどにバックアップデータを移動してください。
- ハードディスクの状態をご購入時から変更(パーティションの追加、削除など)した場合、この方法での再セットアップはできません。
- 再セットアップディスクを使ってCドライブの領域を変更して再セットアップすると、ご購入時にNEC Recovery Systemに入っていた再セットアップ用データが失われます。
  作成した再セットアップディスクを紛失・破損しないように、大切に保管してください。

3　**「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたら、Cドライブの領域の大きさを指定して「実行」をクリック**

以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。

再セットアップが始まり、再起動を求める画面が表示されます。

再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れないでください。

「パソコンを再起動します」の画面が表示されるまで、何も操作しないでください。操作画面を終了などすると、再セットアップに失敗するばかりでなく、再セットアップ領域自体が壊れてしまう可能性があります。

再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネットの再設定などについては、「8.Windowsの設定をする」(p.42)以降の説明を参考にしてください。

これで、Cドライブの領域を変更して再セットアップする作業は完了です。

再セットアップディスクを作成する

ここでは、再セットアップディスクの作成手順を説明します。

再セットアップディスクとは

再セットアップディスクは、ハードディスク内の「再セットアップ領域」(NEC Recovery System)に保存されている再セットアップ用データを、DVD-Rなどのディスクに移したものです。ご自分で作成する必要があります。
次のような専用のデータが使えない場合に備えて「再セットアップディスク」を作成しておくことをおすすめします。

- **ハードディスクの再セットアップ用データを削除した場合**
- **ハードディスクのデータを消去する場合**

再セットアップディスクでできる再セットアップについては、「再セットアップディスクを使って再セットアップする」(p.49)をご覧ください。

チェック!!
通常は、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.38)をご覧になり、この方法で再セットアップしてください。

再セットアップディスクを作成する

このパソコンに入っている「再セットアップディスク作成ツール」を使って再セットアップディスクを作成します。
再セットアップディスクの作成には2〜3時間程度かかります(モデルやその他の条件によって時間は異なります)。

チェック!!
再セットアップディスクは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。

未使用のDVD-Rディスクを準備する

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。「作成の手順」の手順2(p.48)で画面に表示される枚数を確認してください。作成にはDVD1枚につき最大約100分かかります。

- **必ず次の容量のディスクを用意してください。**
  DVD-Rディスクの場合:4.7G バイトのもの
  DVD-R(2層)ディスクの場合:8.5G バイトのもの
- **同じ種類のディスクを用意してください。**
- **次のディスクは使用できません。**
  CD-R、DVD+R、DVD+R(2層)、CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM
- **各機種用の再セットアップディスクを販売しています。お買い求めの際は、PC98-NXシリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。**
  http://nx-media.ssnet.co.jp/

市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す

市販の周辺機器をすべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っているLANケーブルも取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレスLAN機能をオフにしてください。

作成の手順を始める前に

ほかのソフトが起動していると、ディスクの書き込み中にエラーが発生することがあります。作成の手順を始める前に次の操作をおこなってください。

チェック!!
ディスクの作成中は、省電力状態にしたり再起動したりしないでください。また、ログオフ、ユーザーの切り換え、ロックなどの操作をしないでください。

●スクリーンセーバーが起動しないようにする

次の手順で設定を変更します。

1.「スタート」-「コントロールパネル」をクリック
2.「デスクトップのカスタマイズ」をクリック
3.「スクリーンセーバーの変更」をクリック
4.「スクリーンセーバー」で「(なし)」を選び「OK」をクリック
5.「コントロールパネル」の X をクリック

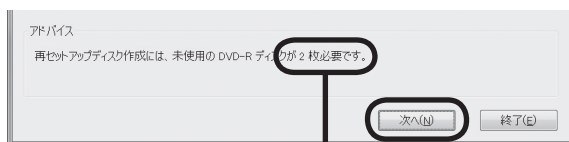
●起動中のソフトをすべて終了する(ウイルス対策ソフトなどを含む)

終了方法は、それぞれのソフトのヘルプなどをご覧ください。

作成の手順

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「再セットアップディスク作成ツール」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリック**

2 **ディスクの種類を選び、必要なディスクの枚数を確認して、「次へ」をクリック**

必要な枚数は、お使いのモデルによって異なります。

ディスクの種類を選ぶと、必要な枚数がここに表示される

3 **設定内容を確認して、「次へ」をクリック**

一部のディスクの書き込みに失敗した場合などは、この画面で「作成開始ディスク」を選ぶと、途中から作成するように指定することもできます。

4 **用意したディスクをセットする**

アクセスランプが消えるまで待ってください。

5 **「作成開始」をクリック**

1枚目のディスクへの書き込みが始まります。書き込みにはしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。

書き込みが完了すると、自動的にディスクが排出され、1枚目のディスクが作成されたことを知らせるメッセージが表示されます。

6 **「OK」をクリック**

7 **ディスクを取り出し、ディスクの種類と何枚目のディスクかわかるように記入する**

続けて、次のディスクをセットしてください。最後のディスクへの書き込みが終わるまで、同じ操作を繰り返します。

「再セットアップディスクを作成しました。」と表示されたら、「作成完了」をクリックしてください。

チェック!!

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

チェック!!

- 「再セットアップ領域」(NEC Recovery System)に保存されている再セットアップ用データが削除されている場合は、メッセージが表示され、再セットアップディスクを作成できません。
  再セットアップ用データは次のような場合に削除されます。
  - 再セットアップディスクを使用して、Cドライブの領域を変更して再セットアップした場合
  - 手動で再セットアップ領域を削除、または再セットアップ用データを削除した場合

チェック!!

- 「書き込み速度」は、通常は「最速」を選んでください。DVD/CDドライブと用意したディスクの組み合わせで使用可能な最高速度で書き込みます。
- 書き込みに失敗した場合は、「書き込み速度」を「中速」または「低速」にして、再度作成してください。

チェック!!

作成した再セットアップディスクは、紛失・破損しないように大切に保管してください。

再セットアップディスクを使って再セットアップする

再セットアップディスクを使ってできることを説明します。

●こんなことができます

- Cドライブのみの再セットアップ
- Cドライブの領域を変更して再セットアップ
- Windowsが起動できないときにバックアップを取る
- パソコンを購入時の状態に戻す
- パソコンのハードディスクのデータを消去

それぞれについて詳しくは、次ページの「再セットアップディスクでできること」をご覧ください。

●こんなかたにおすすめ

- パソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちのかた
- パソコンを購入時の状態に戻したいかた
- Cドライブの領域を最大にして利用したいかた

再セットアップディスクでできること

通常、再セットアップはハードディスク内に準備されている専用のデータでおこないます。ただし、「再セットアップディスクとは」(p.46)で記載したような専用データが使用できない場合でも、あらかじめ再セットアップディスクを作成しておくと、再セットアップをおこなうことができます。
再セットアップディスクを使って、ハードディスクのデータを消去することもできます。

Cドライブのみ再セットアップ

Cドライブの領域のみ再セットアップをおこない、Dドライブの内容は再セットアップをおこなう前の状態のまま残します。「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.38)で説明している内容と同じです。

Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ

Cドライブの領域サイズを変更できます(最低50Gバイト、1Gバイト単位)。Cドライブの最大の領域サイズは、ハードディスク全体のサイズになります。
Dドライブを含め、それまでにハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

データファイナルレスキュー

Windowsが起動できない場合にバックアップを取ります。「Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る」(p.53)で説明している内容と同じです。

ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップ

Cドライブをご購入時の状態に復元して再セットアップをおこないます。再セットアップディスクの内容をハードディスクにコピーして、ハードディスクから再セットアップできるようにします。そのため、この方法での再セットアップには約2時間〜3時間かかります。Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップした後で、ハードディスクの領域をご購入時の状態に戻したいときに利用します。

参照

再セットアップディスクについて→「再セットアップディスクを作成する」(p.47)

チェック!!

- この方法で再セットアップすると、それまでのハードディスクの内容はCドライブ、Dドライブともにすべて失われます。
- 再セットアップを始める前に、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
- Windowsが起動しないなどの理由で、「データファイナルレスキュー」でDドライブにバックアップデータを作成した場合、一度Cドライブのみ再セットアップをおこなってから、CD-R/RWディスクなどにバックアップデータを移動してください。

ハードディスクのデータ消去

このパソコンのハードディスクのデータ消去をおこないます。ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、Windows 7標準のハードディスクのフォーマット機能では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。このパソコンを譲渡や廃棄する場合にご利用ください。
消去にかかる時間は、ご利用のモデルによって異なります。
また、ハードディスクのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

●かんたんモード(1回消去)

ハードディスク全体を「00」のデータで1回上書きします。

●しっかりモード(3回消去)

米国国防総省NSA規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みをおこないます。3回消去をおこなうことにより、より完全にハードディスクに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回書き込みをおこなうため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。

●しっかりモードプラス(3回消去+検証)

米国国防総省DoD規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去をおこないます。「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みをおこない、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。3回消去をおこなうことにより、より完全にハードディスクに保存されていたデータを消去できます。ただし、3回の書き込みと検証をおこなうため、かんたんモードの4倍以上の時間がかかります。

チェック!!

- ハードディスクのデータを消去する前に、BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻してください。手順について詳しくは、PART4の「パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない」(p.70)をご覧ください。なお、BIOSの初期値を変更していないときは、この操作は不要です。
- どの方法でも、ハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。
- データ消去方式を選択する画面に、データの消去にかかる目安時間が表示されます。

再セットアップディスクを使った再セットアップ手順

1 **作成した再セットアップディスクを用意する**

2 **「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.38)を読み、「1.必要なものを準備する」から「6.市販の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す」までの作業をおこなう**

3 **パソコン本体の電源を入れる**

4 **電源ランプが点灯したら、すぐに再セットアップディスク(1枚目)をセットする**

5 **「「Windows 7 再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容を確認し、「確認しました」をクリックして☑にしてから、「OK」をクリック**

「「Windows 7再セットアップ」実行中の注意」の画面が表示されず、パソコンが通常の状態で起動したときは、再セットアップディスクをセットしたまま、パソコンを再起動してください。

チェック!!

再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後まで操作してください。やむをえず中断したときは、最初から操作をやりなおしてください。

チェック!!

通常、再セットアップをする場合は、市販の周辺機器をすべて取り外してください。

6 **「Windows 7再セットアップ」の画面が表示されたら、「再セットアップ」をクリック**

ディスクを交換するように指示が表示されたら、指示にしたがって再セットアップディスクを順番にセットしてください。

ここでバックアップを取る場合は「データを退避する(データファイナルレスキュー)」を選んでください。外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップを取る場合は、USB機器をUSBコネクタに接続し、バックアップが完了したら、再セットアップをおこなう前に取り外してください。

7 **目的の再セットアップのボタンをクリック**

8 **以降は、画面の指示にしたがって操作する**

「再セットアップ」を選んだ場合は、再セットアップが始まり、「イメージの復元」の画面か、再起動を求める画面が表示されます。

再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードや電源スイッチなどに触れないでください。

ディスクを交換するように指示が表示されたら、指示にしたがって再セットアップディスクを順番にセットしてください。

「パソコンを再起動します」の画面が表示されたら、ディスクを取り出し、「再起動」をクリックしてください。パソコンが再起動して「Windowsのセットアップ」の画面が表示されます。

9 **「8.Windowsの設定をする」(p.42)以降の説明を参考に、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などをする**

「13.Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする」の操作まで終わったら、再セットアップの作業は完了です。

ハードディスクのフォーマットまたは再セットアップがおこなわれている間は、画面に指示が表示されないかぎり、ディスクを取り出したり、電源スイッチに触れたりしないでください。

チェック!!

「パソコンを再起動します」の画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常におこなわれていません。最初からやりなおしてください。

Windowsを起動できないときにデータのバックアップを取る

Windowsが正常に起動しないときでも、「データファイナルレスキュー」でデータのバックアップを取ることができます。

データファイナルレスキューでできること

通常、データのバックアップは再セットアップをおこなう前に取ります。しかし、障害などが原因でWindowsを起動できない場合があります。その場合は、「データファイナルレスキュー」でバックアップを取ってください。
バックアップ先には、パソコンのハードディスク内(Dドライブ)のほか、外付けハードディスクやUSBメモリーを指定することができます。

バックアップ先に外付けハードディスク／USBメモリーを指定する場合のご注意

バックアップ先に外付けハードディスク／USBメモリーを指定する場合、次のことにご注意ください。

- 外付けハードディスクは、USB接続のもののみ利用できます。
- データファイナルレスキュー上では、外付けハードディスク／USBメモリーのフォーマットはできません。あらかじめWindows上でフォーマットや空き容量を確保しておいてください。
- 複数の外付けハードディスク／USBメモリーにデータを分割してのバックアップはできません。
- 外付けハードディスク／USBメモリーの空き容量を超えるサイズのファイルはバックアップされません。
- バックアップ処理中は、外付けハードディスク／USBメモリーを抜かないでください。また、バックアップ終了後は外付けハードディスク／USBメモリーを必ず抜き、接続したままパソコンを起動しないでください。
- 外付けハードディスク／USBメモリー自体で暗号化/セキュリティ機能を備えたもの(OS起動前でも認証可能なもの)は、データファイナルレスキュー起動前にあらかじめ認証を完了させておく必要があります。

次のような外付けハードディスク／USBメモリーは、バックアップ先として指定できません。

・ パソコンへ接続した際に、OS上でパスワード入力や指紋照合などの認証を求められるもの。
・ 自動暗号化/自動セキュリティ機能が動作するもの。
・ パソコンに外付けハードディスク／USBメモリーをあらかじめ登録することで、次回以降のパスワード入力が省略できるもの。

※これらの外付けハードディスク／USBメモリーを使用した場合でも、「バックアップ先」のリストボックスに接続した機器が表示されますが、[空き容量]ボタンをクリックしたときに、空き容量が0バイトと表示され、バックアップすることができません。

データファイナルレスキューを使ったバックアップ手順

次の手順で操作してください。

1 **パソコン本体の電源を入れる**

2 **NECのロゴマークが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます...」が表示されるまで、【F11】を何度か押す**

3 **「「Windows 7 再セットアップ」実行中の注意」が表示されたら、内容を確認し、「確認しました」をクリックして☑にしてから、「OK」をクリック**

パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。
何度かやりなおしても通常のように起動してしまう場合は、【F11】を押すタイミングを変えたり、コントロールパネルから起動してください(p.77)。

4 **「Windows 7再セットアップ」の画面が表示されたら、「データを退避する(データファイナルレスキュー)」をクリック**

5 **外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップを取りたい場合は、USB機器をUSBコネクタに接続する**

6 **「データファイナルレスキュー」の画面が表示されたら、バックアップしたい「バックアップ タイトル」に☑が付いていることを確認して、「次へ」をクリック**

バックアップしたい「バックアップタイトル」が☐のときは、クリックして☑を付けてください。

チェック!!

・ データファイナルレスキューでは、インターネット設定のバックアップを取ることはできません。
・ 音楽データなどの著作権保護されたデータは、バックアップを取ることができません。
・ バックアップ先にメモリーカードは指定できません。スロットにメモリーカードが差し込まれている場合は、取り外してください。

チェック!!

・ バックアップが取れるのは、この画面で☑が付いているデータだけです。この画面で、「追加」をクリックすると、ほかのデータを登録できます。
・ 「Windows Live メール」に☑を付けても、Windows Live メールのアドレス帳のバックアップは取れません(メールアカウントとメールメッセージのバックアップは取れます)。

7 **「ユーザーとバックアップ先の指定」が表示されたら、バックアップするユーザーを選び、どこにバックアップを取るかを選んで「次へ」をクリック**

接続している外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器が「バックアップ先」のリストボックスに表示されていない場合は、いったん「戻る」をクリックして「バックアップタイトルの選択」画面に戻り、「次へ」をクリックして再度「ユーザーとバックアップ先の指定」画面にすすんでください。「セキュリティ機能を使用する」を☑にすると、バックアップファイルをパスワードで保護することができます。セキュリティ機能を使用してデータのバックアップを取る場合は、パスワードを控えてください。パスワードを忘れると復元できなくなります。

8 **バックアップする内容を確認して「実行」をクリック**

バックアップが始まります。完了までにしばらく時間がかかります。

9 **「バックアップの完了」と表示されたら、バックアップユーザー名を控えてから「完了」をクリック**

10 **「「データを退避する」が終了しました。」と表示されたら、「戻る」をクリック**

11 **複数のユーザーを設定している場合は、すべてのユーザーのバックアップが終わるまで手順4〜10を繰り返す**

外付けハードディスクやUSBメモリーなどのUSB機器にバックアップをした場合は、USB機器を取り外してください。
「Windows 7再セットアップ」の最初の画面に戻ります。「再セットアップ」をクリックして再セットアップをおこなってください。

チェック!!

- 標準の状態では、パソコンのハードディスク内にあるDドライブという場所にデータの控えが作成されるようになっています。再セットアップの際にCドライブの領域を変更する場合には、Dドライブのデータも消えてしまうため、外付けハードディスクドライブやUSBメモリーにデータのバックアップを取る必要があります。バックアップ先を変更するには、「ユーザーとバックアップ先の指定」の画面でバックアップ先の場所を指定します。
- 外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。
- バックアップ先にUSBメモリーを指定する場合、「バックアップ先」の「USBメモリー」のリストボックスに複数のドライブが表示されているときは、「空き容量」をクリックし、空き容量が0バイトとなっていないドライブを選択してください。
- 自動暗号化機能などを搭載した外付けハードディスク／USBメモリーは、「バックアップ先」のリストボックスに接続している機器が表示されても、[空き容量]ボタンをクリックしたときに、空き容量が0バイトと表示され、バックアップすることができません。

チェック!!

- Dドライブにバックアップを取った後は、Cドライブのみ再セットアップをおこなってください。そのほかの方法で再セットアップをおこなうと、Dドライブに作成したバックアップデータが消去されてしまう可能性があります。
- Cドライブのみ再セットアップする手順について詳しくは、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.38)をご覧ください。

データファイナルレスキューでバックアップしたデータを復元する

「データファイナルレスキュー」でバックアップしたデータは、以下の手順で復元できます。ここでは、例として、パソコンのDドライブにバックアップを取った場合について説明しています。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「ファイル名を指定して実行」をクリック

2 名前に「D:¥BackupRanger¥BackupUtMini.exe」と入力し、「OK」をクリック

3 「免責事項と注意事項の確認」画面が表示されたら、内容を確認し、「同意する」をクリックして◉にして「次へ」をクリック

4 「バックアップファイル」から、復元したいバックアップファイルを選択して「次へ」をクリック

「バックアップファイル」には、データファイナルレスキューでバックアップを取ったバックアップデータが表示されます。

5 復元したい「バックアップタイトル」に☑が付いていることを確認して、「次へ」をクリック

復元したい「バックアップタイトル」が□のときは、クリックして☑を付けてください。

6 「復元の開始」画面で、「はい」をクリック

データの復元が始まります。完了までにしばらく時間がかかります。

7 「復元の完了」と表示されたら「完了」をクリック

「復元結果の表示」をクリックすると、復元されたファイルの一覧を確認することができます。

これで、データファイナルレスキューで作成したバックアップデータによる復元は完了です。

チェック!!

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。

チェック!!

- 外付けハードディスクなどにバックアップを取った場合は、「(外付けハードディスクのドライブ)¥BackupRanger」フォルダに復元するためのプログラムが作られます。外付けハードディスクをパソコンに接続した後、管理者権限を持つユーザーでログオンしてからプログラムを実行してください。このプログラムは、Windows 7、Windows Vista以外のOSでは動作しません。
- セキュリティ機能を使用してバックアップを取ったバックアップデータを選択した場合、「セキュリティ機能」画面が表示されます。バックアップ時に設定したパスワードを入力し「OK」をクリックしてください。

チェック!!

- 特定のファイルを復元したい場合は、「バックアップタイトル」をクリックした後、下に表示されるフォルダとファイルの一覧の中から、復元したいファイルに☑を付けてください。
- 一度に複数のバックアップタイトルやファイルを復元することもできます。

チェック!!

- データファイナルレスキューでバックアップを取ったユーザーと、復元をおこなうユーザーが異なる場合、注意画面が表示されます。バックアップ時と同じ場所へ復元してもよい場合には、「バックアップ時と同じ場所へ復元する」を選択してください。
- 標準ユーザーのバックアップデータを復元するときには、「バックアップ時と同じ場所へ復元する」を選択してください。

PART

4

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていてトラブルが起きたときは、このPARTで説明しているQ&A事例の中からあてはまる項目を探してみてください。
パソコンが使える場合は、電子マニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」の「困ったら見る」もあわせてご覧ください。

トラブル解決への道

トラブル解決の秘訣は、冷静になることです。何が起こったのか、原因は何か、落ち着いて考えてみましょう。
パソコンから煙が出たり、異臭や異常な音がしたり、手で触れないほど熱かったり、その他パソコンやディスプレイ、ケーブル類に目に見える異常が生じた場合は、すぐに電源を切り、電源コードのプラグやACアダプタをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECにご相談ください。

1 まずは、状況を把握する

◇しばらく様子を見る

あわてて電源を切ろうとしたり、キーボードのキーを押したりせず、しばらくそのまま待ってみましょう。パソコンの処理に時間がかかっているだけかもしれないからです。
パソコンのディスプレイに何かメッセージが表示されているときは、そのメッセージを紙に書き留めておきましょう。原因を調べるときや、ほかの人やサポート窓口などへの質問の際に役立つ場合があります。

◇原因を考えてみる

トラブルが発生する直前にどのような操作をしたか、操作を間違えたりしなかったか、考えてみましょう。電源を入れ忘れていた、ケーブルが抜けていた、必要な設定をし忘れていたなど、意外に単純な原因である場合も多いのです。

◇操作をキャンセルしてみる

たとえばソフトを使っていて障害が起きたとき、「元に戻す」「取り消し」「キャンセル」などの機能があったら、それを使ってみてください。

◇Windowsをいったん終了してみる

いったんWindowsを終了して、もう一度電源を入れなおしただけで問題が解決する場合があります。

2 当てはまるトラブル事例がないか、マニュアルで探してみる

◇このPART「トラブル解決 Q&A」
◇このパソコンに入っている電子マニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」の「困ったら見る」
◇使用中のソフトや周辺機器のマニュアル
◇Windowsの「ヘルプとサポート」

3 インターネットでトラブル事例を探してみる

◇NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」

http://121ware.com/support/

◇マイクロソフトサポート技術情報

Windows 7に関する問題の解決策や修正プログラムが公開されています。
http://support.microsoft.com/fixit

◇ソフトや周辺機器の開発元のホームページ

お使いのソフトや周辺機器のメーカーのホームページでも、Q&A情報が提供されている場合があります。

それでも駄目なら、サポート窓口に電話する

どうしても解決できないときは、サポート窓口に問い合わせてみましょう。トラブルの原因がソフトや周辺機器にあるようならば、それぞれの開発元に問い合わせます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

「ソフト&サポートナビゲーター」でトラブル解決

パソコンのトラブルを解決するのに役立つのは、このマニュアルだけではありません。このパソコンに入っている電子マニュアル「ソフト＆サポートナビゲーター」を活用してください。

「ソフト＆サポートナビゲーター」の使い方

●起動方法

タスクバーの アイコンをクリック

次に「ソフト＆サポートナビゲーター」の「困ったら見る」をクリック

●使い方

画面左の「困ったときには」を選択し、起きているトラブルをクリック。画面を見ながら解決方法を確認していきます。

このパソコンの機能や機器の増設情報も

「ソフト＆サポートナビゲーター」は、トラブル解決だけでなく、このパソコンのソフトや機能についての情報も数多く掲載しています。
特に「機能を知る」では、省電力機能/表示機能/サウンド機能などの機能や、各種コネクタ類の説明など機器増設の際に必要な情報を紹介しています。

パソコンの様子がおかしい

パソコンが異常に熱をもったとき、変なにおいがしたときなど、様子がおかしいと思ったらここをご覧ください。いきなり電源コードのプラグを抜いたりせず、落ち着いて対処しましょう。

パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手で触れないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた

すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。
電源が切れないときは、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

ピーッというエラー音がした

ハードディスクの障害の可能性があります。メッセージや症状を書き留め、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態で、なにも作業をしていないときに、ハードディスクが自動的に動作することがあります。これはパソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているためで、問題ありません。
また、ハードディスクの空き容量が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、ハードディスクのアクセス音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスク デフラグやディスク クリーンアップを実行してください。
それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

メモ

データの断片化とは、データがハードディスクの空いているところに、バラバラに保存される状態をいいます。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

ファンの音が大きい

パソコンの内部には、パソコンの温度が上がりすぎないようにするファン(換気装置)があります。
ファンは内部温度を検知して回り、パソコン内部の温度を下げます。パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がるためファンの音が大きくなることがありますが、故障ではありません。
また、通風孔にほこりがたまってしまうと、パソコン内部の冷却能力が低下し、ファンの音が大きくなることがあります。その場合は『セットアップマニュアル』の「パソコンのお手入れ」をご覧になり、通風孔を清掃してください。
あまりにも異常な音がするときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

参照
NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

パソコンが熱をもっている

パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がることがありますが、故障ではありません。
また、通風孔にほこりがたまってしまうと、パソコン内部の冷却能力が低下し、内部温度が高くなることがあります。その場合は『セットアップマニュアル』の「パソコンのお手入れ」をご覧になり、通風孔を清掃してください。
あまりにもパソコンが熱いときは、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

急に動かなくなった、フリーズした

ソフトや周辺機器に異常が発生すると、どんな操作をしてもパソコンやソフトが反応しなくなることがあります(この状態をフリーズ、またはストール、ハングアップといいます)。このような場合は、次の操作をおこなってください。

チェック!!
動作が止まっているように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。あわてる前に、画面の表示状態や内蔵ドライブアクセスランプ( )が点灯していないかなどをよく確認しましょう。

異常が起きているソフトを終了させる

ソフトで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

1. 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Del】を押す
2. 表示された画面で、「タスクマネージャーの起動」をクリック
   「Windows タスクマネージャー」の画面が表示されます。
3. 「アプリケーション」のタブをクリック

メモ
画面が突然真っ暗になったときには、パソコンが省電力状態になったことが考えられます。省電力状態から復帰するには、電源スイッチを押します。詳しくは「ディスプレイに何も表示されない」(p.66)をご覧ください。

4 右側に「応答なし」と表示されているソフト(アプリケーション)をクリックして、「タスクの終了」をクリック

この方法でソフトが終了できなかったり、終了できても、正しい電源の切り方で電源が切れないときは、次の操作をおこなってください。

強制的に電源を切る

1 パソコン本体の電源スイッチを、電源が切れて電源ランプが消えるまで押し続ける

通常、4秒以上押し続けるとパソコンの電源が切れます。

2 5秒以上待ってから、電源スイッチを押す

パソコンの電源が入ります。「Windowsエラー回復処理」が表示された場合は、そのまましばらくお待ちください。そのほかのメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。

3 Windowsが起動したら、「スタート」をクリック

4 「シャットダウン」をクリック

パソコンの電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、もう一度4秒以上パソコンの電源スイッチを押し続けてください。

それでも症状が改善しない場合は、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)については『セットアップマニュアル』をご覧ください。

チェック!!

・「Windows タスクマネージャー」の画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。表示されない場合は、しばらくお待ちください。

・ソフトで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

チェック!!

頻繁に強制終了をおこなうとハードディスクが故障することがあります。

チェック!!

うまく起動できなかった場合は、「PART3 再セットアップ」(p.33)をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

キーボード、NXパッド

キーボードやNXパッドが正しく動作しなかったり、反応しないときはここをご覧ください。

キーボードのキーを押しても、NXパッドに触れても反応しない、反応が悪い

マウスポインタがの形に変わっていませんか?

マウスポインタがの形になっているときは、パソコンが処理をしているので、キーボードやNXパッドの操作が受け付けられない場合があります。処理が終わるまで待っていてください。

しばらく待ってもキーボードやNXパッドの操作ができないとき

ソフトや周辺機器に異常が発生して動かなくなった(フリーズした)ものと考えられます。「急に動かなくなった、フリーズした」(p.61)をご覧になり、異常が起きているソフトを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。

NXパッドが反応しない、または反応が鈍い

指先やNXパッドが汚れていませんか?

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れをふき取ってから操作してください。

NXパッドの2か所以上に同時に触れていませんか?

NXパッドの2か所以上に同時に触れていると正常に動作しなかったり、マルチタッチジェスチャー(複数の指を使っておこなう操作)と認識されたりします。

チェック!!

動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示や内蔵ドライブアクセスランプ()が点灯していないかをよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

☹→☺ NXパッドの感度の設定が低くなっていませんか？

NXパッドは、誤動作を防止するため、感度を調整することができます。ただし、この感度が低すぎると、NXパッドの反応が鈍くなります。
次の手順で設定を変更してください。

1. **「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「マウス」をクリック**
   「マウスのプロパティ」が表示されます。
2. **「デバイス設定」タブの「設定」をクリック**
   デバイスの設定画面が表示されます。
3. **「アイテムの選択」で「ポインティング」-「感度」をダブルクリック**
   「感度」に含まれる項目が表示されます。
4. **「PalmCheck(パームチェック)」または「タッチ感度」をクリックし、設定を変更する**
   設定内容については、画面の説明をご覧ください。
5. **「OK」をクリック**
   「マウスのプロパティ」に戻ります。
6. **「OK」をクリック**

これで、NXパッドの感度の設定が変更されました。

キーボードに飲み物をこぼしてしまった

キーボードだけでなく、パソコン内部に飲み物が入ると、パソコンの故障の原因になります。すぐに電源を切って、電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外して、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

メモ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードやパソコンが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になりますのでご注意ください。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

電源のトラブル

電源を入れたとき、電源を切ろうとしたときにトラブルが発生したときは、こちらをご覧ください。

電源スイッチを押しても電源が入らない

まれに、パソコン本体が帯電し、電源スイッチを押しても電源が入らない状態になることがあります。次の操作をおこない、放電してみてください。

1 電源コードのプラグをコンセントから抜き、バッテリパックを取り外す

バッテリパックの取り外し方については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

2 そのまま90秒以上放置した後、バッテリパックを取り付け、電源コードのプラグをコンセントに正しく接続しなおす

3 パソコン本体の電源スイッチを押して、電源を入れる

この操作をおこなってもパソコンの電源が入らない場合は、パソコン本体の故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

チェック!!

放電を確実におこなうため、電源コードのプラグはしばらくコンセントから抜いたままにしておいてください。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

電源が切れない。強制的に電源を切りたい

通常の方法で電源が切れないときは、ソフトに異常が起きていると考えられます。「急に動かなくなった、フリーズした」(p.61)をご覧になり、異常が起きているソフトを終了してください。それでも電源が切れないときは、「強制的に電源を切る」(p.62)の操作をおこなってください。

パソコンの電源が勝手に入ってしまう

インターネットからWindowsのモジュール(ドライバやソフトなどの更新プログラム)をダウンロードしてアップデートする際など、設定によってはパソコンが自動的に再起動するため、勝手に電源が切れたり入ったりするように見えることがあります。

パソコンの電源が勝手に切れる

このパソコンは、ご購入時の状態では、一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態(スリープ状態)になるように設定されています。省電力機能の設定を確認してください。省電力機能について詳しくは、「省電力機能について」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93160010 で検索)をご覧ください。

ディスプレイに何も表示されない

パソコンの電源を入れたときにディスプレイに何も表示されないときや、パソコンを使っていて画面が真っ暗になったときは、パソコン本体の電源ランプの状態を確認してください。

パソコン本体の電源ランプが消えているとき。または、点滅しているとき

パソコン本体の電源スイッチを押してください。

画面が表示されるときは、電源が切れていたか、パソコン本体の省電力機能が働いて省電力状態になっていたものと考えられます。
このパソコンは、ご購入時には一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態になるように設定されています。

パソコン本体の電源コードなどは正しく接続されていますか?

一度、電源コードのプラグをコンセントから抜き、『セットアップマニュアル』をご覧になり、もう一度パソコンの各ケーブルを接続しなおしてください。
電源コードなどすべてのケーブルを正しく接続しなおして、電源を入れても本体の電源ランプが点灯しないときは、パソコン本体の故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にお問い合わせください。

バッテリパックは正しく取り付けられていますか?

『セットアップマニュアル』をご覧になり、もう一度バッテリパックの取り付け状態を確認してください。

バッテリは十分充電されていますか?

電源コードを接続していない状態でバッテリ容量が不足していると、パソコンの電源は入りません。電源コードを接続して使うか、バッテリを充電してから使ってください。電源コードを接続してから電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、パソコンの故障が考えられます。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)へお問い合わせください。

チェック!!

電源が入っているとき(省電力状態のときも含む)に、4秒以上電源スイッチを押し続けると強制的に電源が切れてしまうので注意してください。強制的に電源を切るともとの状態に復帰できなくなることがあります。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

パソコン本体の電源ランプが青色に点灯しているとき

キーボードのキー(【Shift】など)を押すか、NXパッドに触れてみてください。

画面が表示されるときは、ディスプレイの省電力機能が働いていたものと考えられます。

休止状態の間に、コンピュータの設定を変更したり周辺機器などの接続を変更しませんでしたか?

休止状態のときに周辺機器を接続したり、接続されていた周辺機器を取り外したりすると、Windowsが起動しなくなることがあります。その場合は、周辺機器の接続をもとの状態に戻して電源スイッチを押してください。

ディスプレイの輝度(明るさ)が低くなっていませんか?

「ディスプレイの明るさ(輝度)を調節する」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93180020 で検索)をご覧になり、画面の輝度を調節してください。

外部ディスプレイを接続していませんか?

外部ディスプレイを接続し、画面の出力先を外部ディスプレイに設定しているときは、パソコンの液晶ディスプレイには画面が表示されません。
画面を表示させるには、キーボードの【Fn】+【F3】または【】+【P】を押すか、設定画面で画面の出力先を変更してください。手順については、「画面を表示するディスプレイを切り換える」(「ソフト&サポートナビゲーター」▶検索番号 93180110 で検索)をご覧ください(出力先を設定画面で変更すると、変更後の画面に設定の確認メッセージが表示されます。そのまま何も操作しないと画面の出力先は変更前の状態に戻ります。いったんパソコンの電源を切り、接続している外部ディスプレイを外してから起動すると、画面の出力先は自動的にパソコンの液晶ディスプレイに変更されます)。
また、接続している外部ディスプレイとの接続や電源が入っていることも、あわせて確認してください。

「Windows 拡張 オプション メニュー」が表示された

「セーフ モード」を選んで、【Enter】を押し、Windowsをセーフモードで起動します。

セーフモード(トラブル修復用の起動状態)で起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常とは異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。

「スタート」-▷-「再起動」をクリックし、再起動して問題がなければ、もとの状態に戻ります。

セーフモードで起動できなかった場合や、再起動しても問題が解決しなかった場合は、システムに障害が発生している可能性があります。「PART3 再セットアップ」(p.33)をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

パソコンの電源を入れると、NECロゴが表示された後、画面がまっくらになる

電源を入れると、「NEC」ロゴが表示された後、画面がまっくらになるときは、「セーフモード(トラブル修復用の起動状態)でパソコンを起動してみる」(p.35)をご覧になり、パソコンを「セーフモード」で起動してみてください。

「オペレーティングシステムの選択」が表示された

「Microsoft Windows 7 Home Premium」を選んで、【Enter】を押してください。Windowsが起動します。

画面に英語のエラーメッセージが表示される

「Checking file system on」と表示された場合

パソコンの電源を切る際に、Windowsは作業中のファイルをディスクに保存しなおすなどのいくつかの処理をおこないます。その処理が正しくおこなわれなかった場合に、このメッセージが表示されます。
このメッセージが表示された後しばらくすると、自動的に、ハードディスクに異常が発生していないかどうかチェックする処理が始まります。ハードディスクに異常がなければそのままWindowsが起動します。以降は問題なくお使いいただけます。
Windowsが正常に起動しなかった場合は、画面にメッセージが表示されますので、その内容をよく読んで対処してください。

「Invalid system disk」、「Operating System not found」などのメッセージが表示された場合

DVD/CD-ROMドライブなどに、CD-ROMなどのディスクがセットされていませんか?

CD-ROMなどを取り出してから、何かキー(【Enter】など)を押してください。ハードディスクからWindowsが起動します。
CD-ROMなどがセットされていないのにこれらのメッセージが表示される場合は、ハードディスクがフォーマットされたか、システムが壊れていて起動できない状態になっています。「PART3 再セットアップ」(p.33)をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない

BIOS(バイオス)セットアップユーティリティで、パソコンの使用環境を変更した後に、Windowsが起動しなくなったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してください。

1 **市販の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、ご購入時の状態に戻す**

2 **パソコン本体の電源を入れ、「NEC」のロゴマークが表示されたら【F2】を押す**
BIOSセットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 **キーボードの【F9】を押す**
セットアップ確認の画面が表示されます。

4 **表示された画面で「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す**
システムの設定が初期値に戻ります。

5 **【F10】を押す**
セットアップ確認の画面が表示されます。

6 **表示された画面で「はい」が選ばれていることを確認して【Enter】を押す**
システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

チェック!!
「BIOSセットアップユーティリティ」で設定したパスワードは、左の操作をおこなっても初期値には戻りません。

参照
BIOSセットアップユーティリティについて
→「ハードウェア環境の設定」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93220040 で検索

チェック!!
手順2で【F2】を押してもBIOSセットアップユーティリティが起動しないときは、いったん電源を切り、再度電源を入れて、何度か【F2】を押してください。

省電力機能

省電力状態（休止状態 / スリープ）からもとの状態に戻れなくなったときや、省電力機能が使えないときは、ここをご覧ください。

省電力状態になる前の状態の画面が表示されない

省電力状態からもとの状態に戻すときは、パソコン本体の電源スイッチを押します。パソコン本体の電源スイッチを押してももとに戻らない場合は、次の点を確認してください。

ソフトや周辺機器は省電力機能（休止状態/スリープ）に対応していますか？

対応していないソフトや周辺機器で省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなソフトや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。

コマンドプロンプトがアクティブのときにスリープ状態から復帰させたが画面が表示されない

【Alt】＋【Tab】を押してタスクを切り換えると、正常に動作するようになります。

スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けませんでしたか？

スリープ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持（記録）した内容は消えてしまう場合があります。

パソコンがWindowsの終了処理をおこなっている途中で、次の操作をしませんでしたか？

・ 液晶ディスプレイを閉じた
・ 省電力状態にした
・ 電源を切った

このような操作をすると、正常に復帰できなくなることがあります。電源スイッチで電源を入れた後に何かメッセージが表示された場合は、そのメッセージにしたがって操作してください。

バッテリの残量が少なくなっていませんか？

ACアダプタを接続してから、液晶ディスプレイを開いた状態でパソコンの電源を入れると、復帰します。

参照
省電力機能について
→「省電力機能」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93160010 で検索

☹→☺ Cドライブの空き容量が少なくなって、ハイブリッドスリープがオフになっていませんか？

Cドライブの空き容量が少なくなると、ご購入時の設定ではオンになっているハイブリッドスリープが自動的にオフになることがあります。ハイブリッドスリープがオフになっていると、バッテリが消耗したとき、スリープ状態になる前の状態が失われます。
コントロールパネルの電源オプションの設定で、ハイブリッドスリープがオンになっているか確認してください。

省電力状態にする前の内容の復元が保証されない場合

次のような場合は、省電力状態にする前の内容は保証されません。

・ 省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
・ 省電力状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。

・ プリンタで印刷しているとき
・ サウンド機能により音声を再生しているとき
・ ハードディスクを読み書き中のとき
・ 省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

チェック!!
省電力状態からの復帰(再開)に失敗したときは、Windowsが起動しても省電力状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、省電力状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。

パスワード

Windows を起動したときにパスワードを入力してもログオンできない場合や、パスワードを忘れてしまった場合は、ここをご覧ください。

パスワードを入力すると「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示される

(キャップスロックキーランプ)や(ニューメリックロックキーランプ)の状態を確認してください。

パスワードは、大文字、小文字も入力したとおりに区別されます。必要に応じてキャップスロックの状態を切り換え、大文字もしくは小文字が入力できるようにしてください。
また、ニューメリックロックがオンになっていると、キー上面に青色で表示されている数字や記号が入力されます。必要に応じて状態を切り換えてください。

参照
キャップスロック、ニューメリックロックについて
→「キーの使い方」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93040030 で検索

パスワードを忘れてしまった

Windowsのパスワードを忘れてしまったとき

一度パスワードをまちがえると(または何も入力しないでをクリックすると)、「ユーザー名またはパスワードが正しくありません。」と表示されるので「OK」をクリックします。もし、そのユーザーのパスワードを設定したときに「ヒント」を設定していれば、次の画面でその「ヒント」が表示されます。これを手がかりにパスワードを思い出してください。

どうしてもパスワードを思い出せない場合は、パスワードをリセットする必要があります。リセットするには、あらかじめ「パスワード リセット ディスク」を作成しておく必要があります。詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

または、「マルチユーザー機能」でこのパソコンにほかのユーザー名が登録してあれば、そのユーザー名でログオンして、「コントロールパネル」-「ユーザーアカウントの追加または削除」の「アカウントの管理」で、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを設定しなおしてください。

詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

チェック!!

- ほかのユーザー名でログオンしてパスワードを設定しなおすと、そのユーザー向けに保存されていた個人証明書や、Webサイトまたはネットワークリソース用のパスワードもすべて失われます。
- 「標準ユーザー」として登録されたユーザー名でログオンした場合、パスワードを設定しなおすことはできません。

ユーザパスワード、スーパバイザパスワードを忘れてしまったとき

BIOS(バイオス)セットアップユーティリティで設定したこれらのパスワードを忘れてしまった場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動できません。NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

ハードディスクのパスワードを忘れてしまったとき

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)では、パスワードを解除できません。もし、ハードディスクのパスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは二度と使用できなくなり、また、ハードディスクを有償で交換することになります。ハードディスクのパスワードを忘れないよう、十分注意してください。

その他

ここまでで、あなたのパソコンのトラブルが見つからなかったときは、ここをご覧ください。ここでも見つからないときは、「ソフト&サポートナビゲーター」やほかのマニュアル、ヘルプ、Readmeファイルをご覧ください。

DVD/CDドライブからディスクを取り出せなくなった

DVDやCDの再生中または書き込み中ではありませんか？

DVDやCDの再生中または書き込み中のときは、DVD/CDドライブのイジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。停止させてからディスクを取り出してください。

パソコンの電源は入っていますか？

パソコンの電源が入っていないと、イジェクトボタンを押してもディスクは出てきません。電源を入れてからディスクを取り出してください。

画面の操作で取り出しをしてみてください。

「スタート」-「コンピューター」をクリックして画面を表示します。DVD/CDドライブのアイコンを右クリックして「取り出し」をクリックしてください。

パソコンを再起動してからイジェクトボタンを押してください。

アクセスランプが消えていることを確認した後いったんパソコンの電源を切り、もう一度電源を入れてください。パソコンが起動してから、イジェクトボタンを押してください。

参照

アクセスランプについて
→「各部の名称と役割」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 93010010 で検索

DVD/CDドライブの故障などが原因でディスクを取り出せなくなったとき

非常時ディスク取り出し穴を使ってディスクを取り出します。詳しい手順については、「ディスクが取り出せなくなったときは」(p.15)をご覧ください。

ウイルスに感染したらしい

「ウイルスバスター」をご使用の場合、インターネット上のクラウド(サーバ)上の情報を使用して通信をおこないながらウイルスチェックをおこなうため、インターネットに接続している状態(インターネット接続のために使っている電話回線ケーブルやLANケーブルを取り外さない、また、ワイヤレスLAN機能はオフにしない)でウイルスを駆除し、被害を届け出てください。

「ウイルスバスター」以外のウイルス対策ソフトをご使用の場合、インターネット接続のために使っている電話回線ケーブルやLANケーブルをパソコンから取り外し、ご使用のソフトごとに指定された方法でウイルスを駆除し、被害を届け出てください。

届出は義務付けられてはいませんが、被害対策のための貴重な情報になります。積極的に報告してください。

●届出先

独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
IPAセキュリティセンター
FAX: 03-5978-7518
E-mail: virus@ipa.go.jp
URL: http://www.ipa.go.jp/security/
IPAではウイルスに関する相談を下記の電話でも対応しています。
(IPA)コンピュータウイルス110番
TEL: 03-5978-7509

参照

ウィルス感染の防止について
→「ウイルス感染の防止」
▶「ソフト&サポートナビゲーター」
▶検索番号 91040010 で検索

パソコンを落とした

外観上、特に問題ないようならば、電源を入れてみてください。万一、電源を入れたときに変な音がしたり、動かなかったりしたら、すぐ電源コードのプラグをコンセントから抜いて、NECサポート窓口(121コンタクトセンター)にご相談ください。

参照

NECサポート窓口(121コンタクトセンター)のお問い合わせ先→『セットアップマニュアル』

Cドライブの空き領域を増やすよう画面にメッセージが頻繁に表示される

Cドライブの空き領域を増やすよう画面にメッセージが頻繁に表示される場合は、不要なデータを削除してCドライブの空き領域を増やしてください。
不要データを削除する方法のほかに、再セットアップのための領域を利用してCドライブの空き領域を増やす方法があります。詳しくはPART3の「再セットアップディスクを使って再セットアップする」(p.49)をご覧ください。

Windows 7再セットアップ画面が表示できない

【F11】を押すタイミングは合っていますか？

パソコン本体の電源を入れ、「NEC」ロゴマークが表示されたら、「ファイルを読み込んでいます…」と表示されるまで何度も【F11】を押し続けてください。

コントロールパネルから起動してください

次の手順で起動することができます。

1. 「スタート」-「コントロールパネル」-「システムとセキュリティ」をクリックする
2. 「バックアップと復元」-「システム設定またはコンピューターの回復」-「高度な回復方法」をクリック
3. 「コンピューターを出荷時の状態に戻す」をクリック
4. 「スキップ」をクリック
5. 「再起動」をクリック

再セットアップディスクを使って再セットアップしてください

再セットアップディスクを使った再セットアップ方法は、「再セットアップディスクを使って再セットアップする」(p.49)をご覧ください。
再セットアップディスクは作成することもできます(p.46)。

付　録

バッテリリフレッシュについて

バッテリの機能を回復するバッテリリフレッシュについて説明します。バッテリについて詳しくは、「バッテリリフレッシュについて」(「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号93150030 で検索)をご覧ください。

バッテリは、使い続けていくうちに、フル充電してもバッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が以前よりも短くなっていきます。このようなときは、バッテリリフレッシュをおこなうことでバッテリの性能を回復できます。

バッテリリフレッシュをおこなうのは、次のようなときです。

・バッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が、以前よりも短くなったとき
・ご購入直後や長期間放置した後で、バッテリの性能が一時的に低下しているとき
・バッテリの残量表示に誤差が生じているとき

チェック!!

バッテリリフレッシュは数時間かかります。時間に余裕のあるときにおこなってください。

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールを使う

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールを使って、バッテリ性能の低下を抑えるためのリフレッシュと現状の性能診断をおこなうことができます。

1 **パソコンにACアダプタを接続し、電源コードのプラグをコンセントに差し込む**

2 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「バッテリ・リフレッシュ&診断ツール」-「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」をクリック**

3 **「次へ」をクリック**

4 **「開始」をクリック**

5 **「はい」をクリック**

バッテリのリフレッシュおよび診断が開始されます。中止するには「中止」をクリックし、確認画面で「はい」をクリックしてください。

6 **診断結果を確認**

「バッテリ状態」が「劣化」と表示された場合には、お早めにバッテリ交換をおすすめします。「警告」と表示されたときは、安全のために充電を止めますので充電はできません。バッテリを交換してください。

参照

バッテリリフレッシュについて
→「バッテリリフレッシュについて」▶「ソフト＆サポートナビゲーター」▶検索番号 93150030 で検索

チェック!!

・バッテリリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。
・バッテリリフレッシュおよび診断中にACアダプタやバッテリパックを取り外すと、バッテリのリフレッシュが中止されます。
・バッテリリフレッシュは、BIOS(バイオス)セットアップユーティリティからもおこなえます。
・バッテリが「警告」状態になった場合は充電ができなくなるため、バッテリリフレッシュをすることができません。

索引

初版 **2011年5月**
NEC
853-811064-106-A

LaVie E
ユーザーズマニュアル

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）